本機の動作環境（下記環境を満たすすべてのパソコンで動作を保証するものではありません。）

- パソコン
  以下のOSを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です。
  Microsoft Windows Vista Home Basic またはHome Premium またはBusiness またはUltimate（Service Pack 1以降）/ Windows XP Home Edition またはProfessional（Service Pack 2以降）（日本語版標準インストールのみ。マイクロソフト社サポート対象外のOSには非対応。）

※ Windows XP Professional x64 Edition は非対応。
付属ソフトウェア Media Manager for WALKMAN は64bit OS非対応。

- CPU：Pentium 4 1.0 GHz相当以上（SonicStageによる動画再生には2 GHz相当以上を推奨）
- メモリ：512 MB以上（Windows Vista Home Premium、Business、Ultimateの場合、1 GB以上推奨）
- ハードディスクドライブ：450 MB以上（1.5 GB以上を推奨）の空き容量が必要です。
  Windows のバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また、音楽やビデオ、写真のデータを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイ：1,024 x 768 ピクセル以上、High Color（16 ビット）以上（256以下では正しく動作しない場合があります）
- CD-ROMドライブ：WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブが必要です。
  さらに音楽CDの作成を行うためには、CD-R/RWドライブが必要です。
- サウンドボード
- USBポート（Hi-Speed USB推奨）
- Microsoft.NET Framework 2.0（付属）または3.0、QuickTime 7.3（付属）、Internet Explorer 6.0または7.0がインストールされている必要があります。
- CDDBやインターネット音楽配信サービス（EMD）を利用する場合や、SonicStageでバックアップしたデータを復元する場合は、インターネットへの接続環境が必要です。
- 以下のシステム環境での動作保証はいたしません。
  自作パソコン/標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境/マルチブート環境/マルチモニタ環境/Macintosh
- 本機を自作パソコンに接続し、数秒以内に本機画面が点灯しない場合は、本機をすぐに取りはずしてパソコンのUSB電源配線に間違いがないかご確認ください。そのまま使い続けると、本機が過熱し故障します。

* 4 1 2 2 1 0 9 0 2 * (2)

4-122-109-**02** (2)

SONY

WALKMAN

取扱説明書

NW-X1050 / X1060

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取扱説明書」と「詳細操作ガイド(PDF)」、別冊の「安全のために」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

マニュアルについて

本機と付属のソフトウェアの操作は、「取扱説明書」のほかに、「詳細操作ガイド(PDF)」(付属のCD-ROMに収録)と、SonicStageやMedia Manager for WALKMANのヘルプ(各ソフトウェアの[ヘルプ]メニューから参照)などで説明しています。

- **取扱説明書(本書)**:準備から再生までの基本的な操作の説明と困ったときの対処方法の説明
- **詳細操作ガイド(PDF)**:各機能の使いかたや設定方法などの応用操作、困ったときの対処方法の説明
- **SonicStageのヘルプ**:本機で音楽を楽しむために使うSonicStageの操作についての説明
- **Media Manager for WALKMANのヘルプ**:本機でビデオや写真を楽しむために使うMedia Manager for WALKMANの操作についての説明
- **安全のために**:事故を防ぐための重要な注意事項の説明

詳細操作ガイド(PDF)を見るには

- ☞19ページの手順に従ってインストール後、デスクトップに作成されたショートカット(NW-X1000 シリーズ 詳細操作ガイド)をダブルクリックするか、Windowsのスタートメニューから[マイコンピュータ](Windows Vistaでは[コンピュータ])－[ローカルディスク(C:)]－[Program Files]－[Sony]－[Manuals]－[NW-X1000 シリーズ 詳細操作ガイド]の順にクリックします。
- Adobe Acrobat Reader 5.0以降、またはAdobe Readerが必要です。Adobe Readerはインターネットから無償でダウンロードできます。

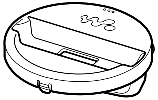
最新の情報を見るには

ウォークマン カスタマーサポートのホームページでは、ご質問やトラブルの解決方法、接続できる機器の互換性情報、本機またはSonicStageについての最新情報を掲載しています。
http://www.sony.co.jp/walkman-support/

付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

- □ ヘッドホン(1)
- □ イヤーピース(Sサイズ、Lサイズ)(各サイズ2個1組)
- □ USBケーブル(1)
- □ アンテナケーブル(1)
- □ アタッチメント(1)
  本機を別売りのクレードルなどに取り付けるときに使います。

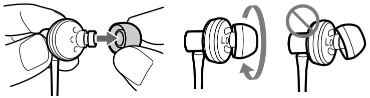


- □ CD-ROM*[1](1)
  - SonicStageソフトウェア
  - Media Manager for WALKMANソフトウェア
  - WALKMAN Launcherソフトウェア
  - 詳細操作ガイド(PDF)
- □ 取扱説明書(本書)(1)
- □ 安全のために(1)
- □ 保証書(1)
- □ ソニーご相談窓口のご案内(1)
- □ カスタマー登録のお願い(1)

*[1] 音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

イヤーピースの正しい装着方法

イヤーピースが耳にフィットしていないと、低音が聞こえなかったり、ノイズキャンセリング機能(☞55ページ)の効果が得られなかったりします。より良い音質を楽しんでいただくためには、イヤーピースのサイズを交換したり、おさまりの良い位置に調整するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。
お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のLサイズやSサイズに交換してください。イヤーピースがはずれて耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際には、ヘッドホンにしっかり取り付けてください。取り付けを確実にするためにイヤーピースを回転してください。
イヤーピースが破損した場合には、別売りのイヤーピース(EP-EX1)をご購入ください。



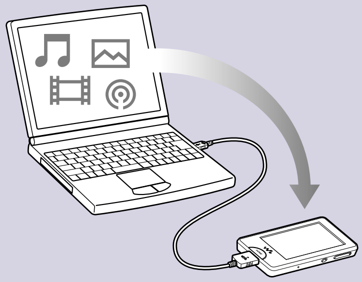
目次

はじめに

お買い上げいただきありがとうございます。
本機では次のような機能を使って楽しむことができます。

パソコンから転送して、音楽、ビデオ、写真、ポッドキャストを楽しむ

本機で音楽やビデオ、写真、ポッドキャストを楽しむには、付属のソフトウェア（SonicStage、Media Manager for WALKMAN）を使って本機にデータを転送します。ソフトウェアは必ず付属のCD-ROMからパソコンにインストールしてください。（☞ 19ページ）



音楽

取り込む	（☞ 22ページ）
転送する	（☞ 24、40ページ）
再生する	（☞ 26ページ）

ビデオ・写真・ポッドキャスト

転送する	（☞ 32、40ページ）
再生する	（☞ 36ページ）

本機へのデータ転送に対応したネットジュークやブルーレイディスクレコーダーからデータ転送を行うこともできます。転送方法についてはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ワンセグを楽しむ

本機でワンセグの視聴・録画をすることができます。

チャンネルを設定する	（☞ 47ページ）
ワンセグを視聴する	（☞ 49ページ）
ワンセグを録画する	（☞ 51ページ）

FMラジオ放送を楽しむ

FMラジオ放送とテレビ放送（1 ～ 3チャンネル）を楽しめます。
オートプリセットを行って、受信できる放送局をあらかじめ登録すると便利です。

FMラジオ放送を楽しむ	（☞ 58ページ）

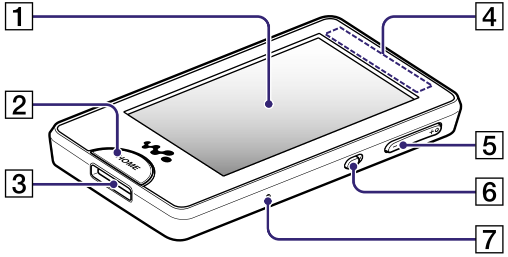
無線LAN接続してYouTubeやWebサイトを見る

無線LAN接続して、YouTubeの動画を再生したり、Webサイトを表示したりできます。
また、本機でポッドキャスト登録して、エピソードをダウンロードできます。

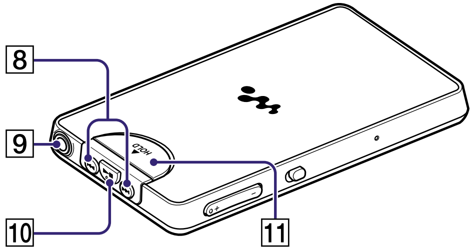
無線LAN接続を設定する	（☞ 60ページ）
YouTubeを見る	（☞ 65ページ）
Webサイトを見る	（☞ 66ページ）
ポッドキャストを登録・ダウンロードする	（☞ 68ページ）

各部の名前と機能

本体表面



本体裏面



1 画面(タッチパネル)
画面(タッチパネル)上に表示されるアイコンや項目、操作ボタンなどを指で軽くタッチ(タップ)して、本機を操作できます(☞ 10ページ)。

2 HOMEボタン
ホームメニューを表示します(☞ 14ページ)。押したままにすると画面表示が消え再生待機状態になります。

3 WM-PORTジャック
付属のUSBケーブルや、別売りのWM-PORT対応のアクセサリーを接続できます。

4 内蔵アンテナ
無線LAN通信中は手などでおおわないようにしてください。

5 VOL＋*1/－ボタン
音量を調節します。

6 NOISE CANCELING スイッチ
NOISE CANCELINGスイッチを矢印の方向►にスライドすると、ノイズキャンセリング機能が有効になります(☞ 55ページ)。

7 RESETボタン
クリップなどの細い棒でRESETボタンを押すと、本機をリセットできます(☞ 72ページ)。

8 I◀◀/▶▶Iボタン
曲やビデオの頭出しや早送り／早戻しを行います。

9 ヘッドホンジャック
ヘッドホンを接続します。「カチッ」と音がするまで差し込みます。
ワンセグを視聴するときは、付属のアンテナケーブルを接続し、ヘッドホンを接続してください(☞ 46ページ)。

10 ▶II*1ボタン
曲やビデオの再生や一時停止を行います。

11 HOLDスイッチ
HOLDスイッチを矢印の方向▲にスライドすると、操作ボタンとタッチパネル操作が働かなくなり、画面上部に HOLD が表示されます。

*1 ボタンには、凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

タッチパネルの使いかた

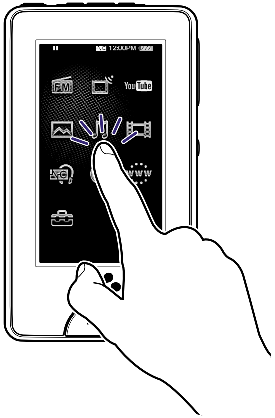
画面（タッチパネル）を使って、本機を操作することができます。
画面上に表示されるアイコンや項目、操作ボタンなどをタップして、本機を操作できます。また、画面をドラッグしてリストをスクロールしたり、画面をフリックしてリストをすばやくスクロールしたり、サムネイル（一覧に表示するための小さな画像）をすばやく送ったりできます。

タッチパネル操作についてのご注意

本機のタッチパネルは、次のような場合は正常に動作しません。

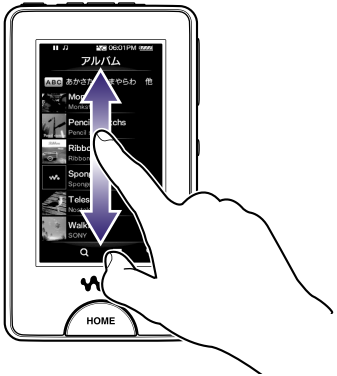
- 手袋をした指での操作
- 2本以上の指での操作
- 爪先での操作
- 濡れた指での操作
- ペン、ボールペン、鉛筆、スタイラスなどによる操作
- タッチパネルに指以外が触れたままでの操作

タップして選択する



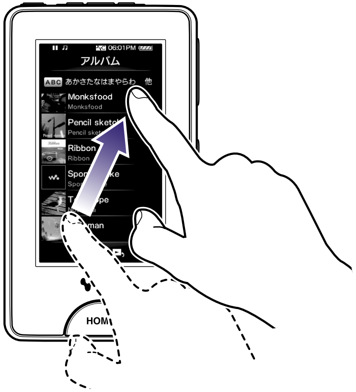
画面上に表示されるアイコンや項目、操作ボタンなどを、指で軽くタッチ（タップ）すると、選択することができます。

ドラッグして画面をスクロールする



画面上に表示されるリストなどを指で上下にドラッグすると、リストが上下にスクロールします。また、タイムラインバーなどのインジケータ（再生位置など）を指でドラッグすると、インジケータがドラッグした位置へ移動します。

フリックして画面をすばやく送る

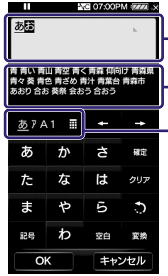


指で画面を上下にはじく（フリックする）と、リストなどが上下にすばやくスクロールされます。また、音楽のアルバムスクロール画面や、ビデオのシーンスクロール画面などでは、画面上に表示されるジャケット写真やビデオのサムネイルを上下または左右にフリックすることですばやく送ることができます。

文字を入力する

画面(タッチパネル)上に表示されるキーボードを使って、文字を入力できます。
Webサイトのアドレスなど文字を入力する必要がある項目を選ぶと、キーボードが画面に表示されます。

例:ひらがな入力画面



文字入力エリア
入力した文字が表示される

変換候補表示エリア
入力候補または変換候補が表示される

入力モードキー

ヒント

- 全角ひらがなモードや半角英字モードのときは、入力した文字から始まる変換候補が文字入力エリアの下部(変換候補表示エリア)に表示されます(予測変換機能)。予測変換機能について、詳しくは「詳細操作ガイド(PDF)」の「文字を入力する」をご覧ください。

入力モード(キーボード)を切り替えるには

入力モードキーをタップするたびに、次のように切り替わります。

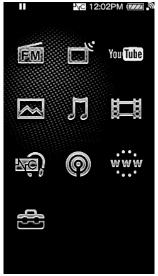
入力モード	入力できる文字の例
全角ひらがな	あいうえお
半角カタカナ	ｱｲｳｴｵ
半角英字	abcde
半角数字	12345

ご注意

- 入力できる文字が制限されている場合は、上記の操作を行っても入力モードを切り替えられない場合があります。

ホームメニューの機能

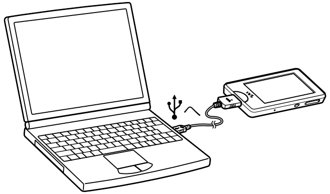
本機のHOMEボタンを押すと、ホームメニューが表示されます。ホームメニューは各機能の入り口になります。各機能については参照ページをご覧ください。



FMラジオ	FMラジオ放送を受信します（☞ 58ページ）。
ワンセグテレビ	ワンセグ放送を受信します。受信した番組を本機に録画することもできます（☞ 45ページ）。
YouTube	無線LAN接続して、YouTubeの動画を再生します（☞ 65ページ）。
フォト	本機に転送した写真を表示します（☞ 36ページ）。
ミュージック	本機に転送した曲を再生します（☞ 26ページ）。
ビデオ	本機に転送したビデオや、本機に録画したワンセグ番組を再生します（☞ 36ページ）。
NC入力切替	ノイズキャンセリング機能を使って、周囲の騒音を低減することができます（☞ 55ページ）。
ポッドキャスト	エピソードをダウンロードして、ポッドキャストを再生します（☞ 36、68ページ）。
インターネットブラウザ	無線LAN接続して、Webサイトを表示します（☞ 66ページ）。
各種設定	各機能の設定や、本機の設定を行います。

各機能の使いかたや設定方法、本機の応用操作について詳しくは、「詳細操作ガイド（PDF）」をご覧ください。

充電する



本機を起動しているパソコンと接続して、本体画面右上の電池残量表示が FULL になるまで充電してください。電池残量表示が消えている場合は、本体のHOMEボタンを押すと表示されます。電池を使い切った状態から約3時間で充電が完了します。
また、本機に対応している別売りのACアダプター（AC-NWUM50Aなど）を使って充電することもできます。

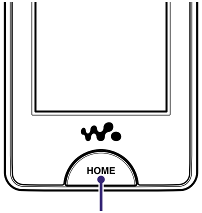
ヒント

- 充電中に「画面オフタイマー」で設定された時間が経過すると画面表示が消えます。HOMEボタンを押すことによって充電などの画面表示を確認することができます。

ご注意

- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。本機を接続したまま長時間放置しないでください。
- 本機を長期間使わない場合、半年から1年ごとに充電するようにしてください。

電源を入れる／切る



HOMEボタン

電源を入れる

裏面のHOLDスイッチを矢印（▲）と反対の方向にスライドして（ホールド解除）、本機のいずれかのボタンを押すと、本機の電源が入ります。

電源を切る

HOMEボタンを押したままにすると、「POWER OFF」画面が表示された後、画面表示が消え再生待機状態になります。
再生待機状態のまま最長で1日経過すると、自動的に電源が切れます。

ヒント

- 再生待機状態のときにはタッチパネルでの操作はできません。本機のいずれかのボタンを押して電源を入れてから操作してください。
- 本機は、約10分間操作がないと、画面表示が消えて自動的に再生待機状態になります。その間にタッチパネルに触れると、画面が表示されます。
- 本機をお使いになる前に、本機の日付と時刻を合わせてください（☞ 18ページ）。

ご注意

- パソコン接続中は本機を操作することはできません。USBケーブルをはずしてから操作してください。
- パソコンにUSBケーブルで接続した後は、前回再生していた曲やビデオ、写真などの再生の記録が本機から削除されます。リスト画面から希望のコンテンツを選び直してください。

時計を合わせる

本機では日付と時刻が正しく設定されていないと、ワンセグが視聴できなかったり、YouTubeやWebページが正しく表示されないことがあります。お使いになる前に現在の日付と時刻を設定してください。お買い上げ時は、ワンセグを視聴すると本機の時刻が放送波に含まれる時刻と同期する「ワンセグ放送と同期」に設定されています。お買い上げ時の設定のまま本機をお使いになることをお勧めします。
また、下記の手順で手動で設定することもできます。

1 ホームメニュー→（各種設定）→「共通設定」→「時計設定」→「日付時刻設定」→「マニュアル設定」を選ぶ。

2 「年」、「月」、「日」、「時」、「分」の数字を選ぶ。
数字をフリックまたはドラッグして希望の数字を選びます。

3 「OK」をタップする。
本機の時計設定が完了します。

ヒント

- 手順 **1** で「対応ソフト・機器と同期」を選ぶと、SonicStageに接続したとき、本機の時刻がパソコンの時刻と同期して設定されます。
- 時刻の表示形式は「12時間表示」または「24時間表示」から選択できます。詳しくは、「詳細操作ガイド（PDF）」の「時刻表示形式」をご覧ください。

ソフトウェアをインストールする

本機で音楽を楽しむにはSonicStage、ビデオや写真やポッドキャストを楽しむにはMedia Manager for WALKMANを使います。
次の手順に従って、ソフトウェアと「詳細操作ガイド（PDF）」をインストールします。すでにSonicStageがインストールされている場合は、インストールの前にSonicStageのデータのバックアップをとっておくことをおすすめします。
インストールをする前に動作環境（裏表紙）を確認してください。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。
Administrator権限、またはコンピュータの管理者でログオンしてください。

2 起動中のソフトウェアを終了する。
インストール中の負荷が大きくなったり、正しくインストールできない恐れがあるため、ウイルスチェックソフトを含め、すべての起動中のソフトウェアを終了してください。

3 パソコンのドライブに付属のCD-ROMを入れる。
インストーラーが自動的に起動します。インストーラが起動しない場合には、Windowsの「スタート」メニューから［マイ コンピュータ］または［コンピュータ］をクリックして、CDドライブのアイコンをダブルクリックしてください。インストールプログラムが起動します。

4 インストールするものを選択する。
使用許諾契約の同意のあと、表示される画面の指示に従って操作してください。
お使いのパソコンによっては、インストール完了までに時間がかかる場合があります。
また、インストール後に再起動が必要な場合は、表示される画面に従って操作してください。

インストールできないときは

「困ったときは」（☞ 72ページ）および「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページで調べてください。ソフトウェアの最新情報などについてもご確認いただけます。

http://www.sony.co.jp/walkman-support/

それでもインストールできないときは、ソニーの相談窓口（☞ 最終ページ）またはお買い上げ店へご相談ください。

SonicStageをお使いになるときのご注意について

SonicStageのヘルプで「制限事項」をご覧ください。

ヒント

- ソフトウェアをインストールするとコンテンツにそったソフトウェアを起動するためのWALKMAN Launcherも一緒にインストールされます。WALKMAN Launcherについて詳しくは、21ページをご覧ください。

WALKMAN Launcherの使いかた

付属のCD-ROMを使ってソフトウェアをインストール後、本機をパソコンに接続すると、WALKMAN Launcherが起動します。使いたいソフトウェアを起動したり、インターネットに接続しておけば、ビデオダウンロードサービスのウェブサイトを表示できます。



1 SonicStageを起動します。曲の取り込み（☞ 22ページ）、転送（☞ 24ページ）を行います。

2 Media Manager for WALKMANを起動します。写真の転送（☞ 32ページ）を行います。

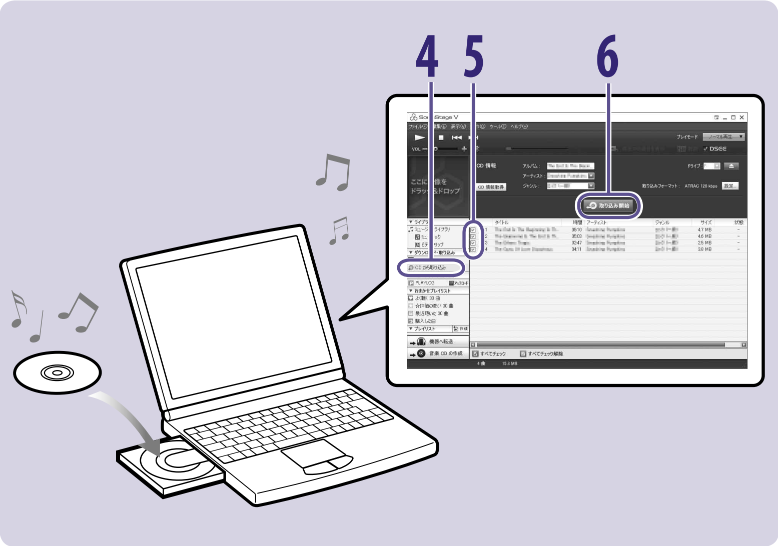
3 Media Manager for WALKMANを起動します。ビデオの転送（☞ 32ページ）を行います。

4 Media Manager for WALKMANを起動します。ポッドキャストの転送（☞ 32ページ）を行います。

5 インターネットのビデオダウンロードサービスのウェブサイトを表示します。詳しくは、表示される画面に従って操作してください。

6 1 ～ 4 で起動するソフトウェアを設定します。

SonicStageを使って、パソコンに曲を取り込みます。ここでは、音楽CDの曲を取り込む方法を説明します。SonicStageでは、インターネットに接続して、CD情報(曲名やアーティスト名など)を自動取得したり、ジャケット写真の登録もできます。



1 **デスクトップの アイコンをダブルクリックしてWALKMAN Launcherを起動する。**

2 **WALKMAN Launcherの[ミュージック]をクリックする。**

SonicStageが起動します。

3 **音楽CDをドライブに入れる。**

SonicStageではじめて音楽CDを利用するときは、ドライブのチェックが行われる場合があります。ドライブチェックが表示された場合は、画面に従って操作してください。

4 **[CDから取り込み]をクリックする。**

CDを録音する画面が表示され、音楽CDの曲が一覧で表示されます。

5 **取り込みたい楽曲にチェック( )を付ける。**

CD内の楽曲全てを取り込みたい場合、[すべてチェック]をクリックすると、全ての曲にチェックが付きます。

6 **[取り込み開始]をクリックする。**

曲の取り込みが始まります。取り込みが終わると、曲単位で「取り込み済み」と表示されます。

ヒント

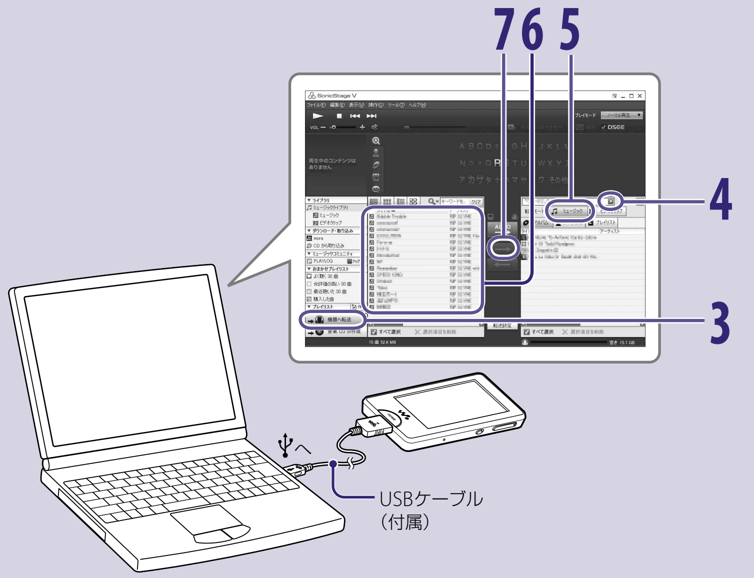
- [スタート]メニューから、直接SonicStageを起動することもできます。
- SonicStageでは、インターネット音楽配信サービスから取り込んだり、すでにパソコンに保存している曲(MP3、WMA*[1]、ATRAC、AAC*[1]など)を取り込めます。
  *[1] 著作権保護されたWMA/AACファイルは、取り込めません。

ご注意

- SonicStageを使用中(CD録音中、曲の取り込み中、本機への転送処理中)にパソコンがスリープ/スタンバイ/休止状態へ移行すると、データが失われたり、SonicStageが正常に復帰しない場合がありますのでご注意ください。

♫ 音楽を転送する

本機をパソコンと接続し、SonicStageに取り込んだ曲を本機に転送します。
Windowsのエクスプローラを使って転送することもできます（☞ 40ページ）。



1 **付属のUSBケーブルで本機とパソコンを接続する。**
USBケーブルのコネクタは、W. を上にして本機に差し込みます。
接続すると、WALKMAN Launcherが起動します。

2 **［ミュージック］をクリックする。**
SonicStageが起動します。

3 **［機器へ転送］をクリックする。**

4 **（アイコン）をクリックして本機を選ぶ。**

5 **「転送モード」を［ミュージック］にする。**
「転送モード」が表示されない場合は次の手順へ進んでください。

6 **転送する曲やアルバムを選ぶ。**

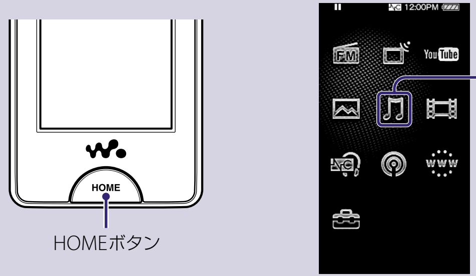
7 **（→ボタン）をクリックして曲を転送する。**
「USB接続を解除しないでください。」と表示されて、転送が始まります。この表示が消えて、SonicStageの画面右側に曲やアルバムが表示されたら、本機を取りはずすことができます。
転送を途中で止めるには、［中止］をクリックします。

ヒント
- ［スタート］メニューから、直接SonicStageを起動することもできます。
- SonicStageで好きな曲と順番でまとめたプレイリストを作成し、転送すると、本機で好きな順番で再生できます。

ご注意
- 本機とパソコン間でのデータ転送中は、「USB接続を解除しないでください。」と表示されます。「USB接続を解除しないでください。」と表示されている間は、USBケーブルをはずさないでください。転送中のデータや本機内のデータが破損することがあります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。本機を接続したまま長時間放置しないでください。

音楽を再生する

SonicStageから転送した曲は、本機のミュージックメニューに保存されます。ホームメニューから(ミュージック)を選ぶと、曲を再生できます。



1 **パソコンとの接続をはずして、ホームメニュー→ (ミュージック)を選ぶ。**

音楽再生画面が表示されます。

2 **►を選ぶ。**

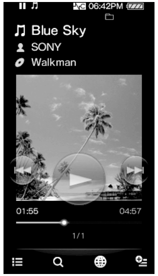
曲の再生が始まります。►(再生)などの表示が消えているときは、画面をタップすると表示されます。

⏮/⏭をタップすると、前の曲や再生中の曲、次の曲の頭出しをします。

押したままにすると、早戻しや早送りをします。

再生を一時停止するには、❚❚をタップします。

一時停止中に、一定時間操作がないと自動的に再生待機状態になります。



音楽再生画面

ヒント

- 音楽再生画面で(サーチ)を選ぶと、サーチメニューが表示されます。サーチメニューから検索方法を選ぶと、リスト画面から希望の曲を選んで再生できます。検索方法は、「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」、「ジャンル」、「リリース年」、「プレイリスト」の中から選べます。詳しくは「詳細操作ガイド(PDF)」の「検索して再生する」をご覧ください。

ミュージックメニュー内の曲を削除する

曲（ミュージックメニュー内の曲）は本機では削除できません。パソコンと本機を接続し、SonicStageから転送した曲はSonicStageで、Windowsのエクスプローラで転送した曲はWindowsのエクスプローラを使って削除してください。

再生方法を変える（プレイモード）

曲を順不同に聴いたり、選んだ再生方法で繰り返し再生できます。

1 ホームメニュー→（各種設定）→「音楽設定」→「プレイモード」→希望の設定の種類→「OK」を選ぶ。
選んだプレイモードで曲を再生することができます。

設定の種類（アイコン）	説明
ノーマル（表示なし）	再生範囲の曲を順に再生します。（お買い上げ時の設定）
リピート（）	再生範囲の曲を順に繰り返し再生します。
シャッフル（SHUF）	再生範囲のすべての曲を順不同に再生します。
シャッフルリピート（ SHUF）	再生範囲のすべての曲を順不同に繰り返し再生します。
1曲リピート（1）	再生中または再生を始めた曲を繰り返し再生します。

好みの音質で再生する

曲を好みの音質に変えて再生することができます。

1 ホームメニュー→（各種設定）→「音楽設定」を選ぶ。
音楽設定項目一覧が表示されます。

2 「イコライザ」、「VPT（サラウンド）」、「DSEE（高音域補完）」、「ダイナミックノーマライザ」、「クリアステレオ」の各設定項目を選ぶ。
各設定項目については☞ 30、31ページをご覧ください。

3 希望の設定の種類→「OK」を選ぶ。
選んだ音質効果の設定で曲を再生することができます。

ご注意

- ビデオまたはワンセグ、FMラジオ、YouTube、ポッドキャスト（ビデオのみ）、外部入力の音声には、音質の設定は反映されません。

音楽

次のページへつづく☞

イコライザ

音楽のジャンルに合わせて音を設定します。

設定の種類（アイコン）	説明
オフ（表示なし）	イコライザ機能を無効にし、通常の音で再生します。（お買い上げ時の設定）
ヘビー（H）	低域と高域を強調した迫力のある音質になります。
ポップス（P）	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
ジャズ（J）	メリハリのある低域と高域を強調した音質になります。
ユニーク（U）	小さな音でも比較的聞き取りやすいように低域と高域を強調した音質になります。
カスタム 1、2（1/2）	自分で設定した値になります。設定方法は「詳細操作ガイド（PDF）」をご覧ください。

VPT（サラウンド）

「スタジオ」、「ライブ」、「クラブ」、「アリーナ」では、音楽を再生する空間をヘッドホンで擬似的に再現します。豊かな音場感が得られる「マトリックス」やボーカルを減衰させる「カラオケ」のモードもあります。

設定の種類（アイコン）	説明
オフ（表示なし）	VPT機能を無効にし、通常の音で再生します。（お買い上げ時の設定）
スタジオ（S）	録音スタジオにいるような臨場感になります。
ライブ（L）	ライブハウスにいるような臨場感になります。
クラブ（C）	クラブにいるような臨場感になります。
アリーナ（A）	アリーナ会場にいるような臨場感になります。
マトリックス（M）	全方向から音が再現されるようなチューニングを加えたモードで、ナチュラルな再生音ながら豊かなサラウンド音場感が得られます。
カラオケ（K）	センターボーカルを減衰させ、演奏音に対してサラウンド効果を持たせることで、ステージ上にいるような臨場感を得ることができます。

DSEE（高音域補完）

圧縮音源に対して高音質化処理を施し、さらに圧縮で取り除かれた高音域を補完することで、オリジナル音源に近い自然で広がりのある音を再現します。

設定の種類	説明
オン	DSEE機能が有効になり、オリジナル音源に近い自然で広がりのある音で再生します。
オフ	DSEE機能を無効にし、通常の音で再生します。（お買い上げ時の設定）

ダイナミックノーマライザ

曲どうしの音量レベルの差が少なくなるように設定できます。この設定により、録音レベルの異なる複数のアルバムの曲をシャッフル再生するときでも、曲によって音量が大きすぎたり、小さすぎたりするのを避けられます。

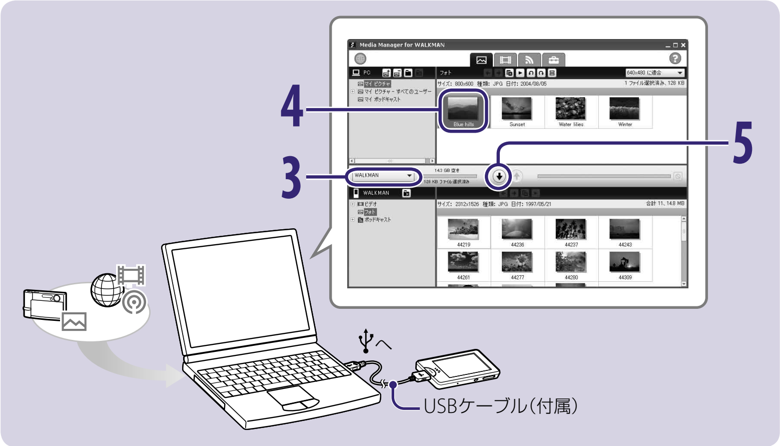
設定の種類	説明
オン	曲どうしの音量レベルの差が少なくなります。
オフ	曲を取り込んだときの音量レベルのまま再生します。（お買い上げ時の設定）

クリアステレオ

ヘッドホンの左右から出る音を、デジタル処理によりくっきりと区別して再生します。

設定の種類	説明
オン	クリアステレオ機能の効果を得たい場合に選びます。（お買い上げ時の設定）
オフ	クリアステレオ機能を無効にし、通常の音で再生します。

インターネットのサービスを利用してダウンロードしたビデオやポッドキャスト、デジタルスチルカメラなどで撮影した写真をパソコンに取り込み、付属のMedia Manager for WALKMANを使って本機に転送します。



1 **付属のUSBケーブルで本機とパソコンを接続する。**
USBケーブルのコネクタは、 を上にして本機に差し込みます。
接続すると、WALKMAN Launcherが起動します。

2 **ビデオを転送する場合は[ビデオ]、写真を転送する場合は[フォト]、ポッドキャストを転送する場合は[ポッドキャスト]をクリックする。**
選んだ機能のタブが有効な状態で、Media Manager for WALKMANが起動します。

3 **転送先リストで[WALKMAN]*¹を選ぶ。**
*¹ Windowsのエクスプローラなどで本機の名前を変更しているときは変更した名前を選んでください。

4 **転送したいビデオ、写真またはポッドキャストのエピソードをクリックする。**
ファイルが含まれるフォルダのショートカットをあらかじめ登録すると便利です。画面左上の (ショートカット追加)アイコンをクリックして、取り込むフォルダを指定してください。

5 **をクリックして転送を始める。**
転送中画面が表示されます。
転送されたビデオや写真やポッドキャストのエピソードは、画面下側のWALKMANに追加されます。
転送を途中で止めるには、 アイコンをクリックします。

ヒント
- [スタート]メニューから、直接Media Manager for WALKMANを起動することもできます。
- Windowsのエクスプローラを使って、本機にビデオや写真やポッドキャストを転送することもできます(☞40ページ)。

ご注意
- 本機とパソコン間でのデータ転送中は、「USB接続を解除しないでください。」と表示されます。「USB接続を解除しないでください。」と表示されている間は、USBケーブルをはずさないでください。転送中のデータや本機内のデータが破損することがあります。
- 本機で再生できないファイルは転送できません。 が表示されます。
本機で再生できるファイルの種類については、☞34、35、100、101ページをご覧ください。
- Media Manager for WALKMANを使って音楽を転送することはできません。

ビデオのフォーマットについて

さまざまなビデオのファイルフォーマットを本機で再生できるように変換するためには、別売りの「Image Converter 3 ver3.1 (WMS-NWIC31)」をお買い求めください。

ビデオファイルやAV機器で録画したファイルのMedia Manager for WALKMANとImage Converter 3での対応

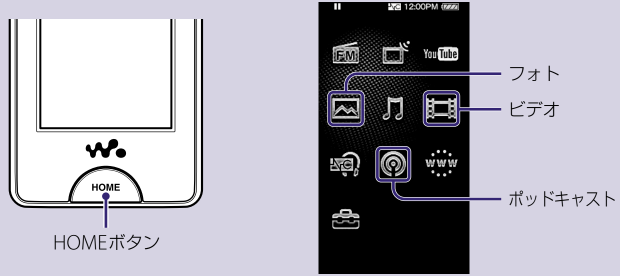
ビデオコンテンツ	ファイルフォーマット	対応		制限事項
		Media Manager for WALKMAN	Image Converter 3	
インターネットのeyeVioなどからダウンロードしたビデオ	MPEG-4 AVC (H.264/AVC) Baseline Profile 形式 WMV	○	○	本機で再生できるビデオの形式（☞ 101ページ）であれば、Media Manager for WALKMANで転送し、本機で再生が可能です。対応していない形式の場合には変換[*1]が必要です。
ハンディカムで撮影したビデオ	AVCHD HDV MPEG-2 DV	–	○	ハンディカムに付属のソフトウエアでパソコンへ取り込み、MPEG-2やDV-AVI形式などのファイルに変換してから、Image Converter 3に取り込み本機に転送してください。 他社製ビデオカメラについては、発売元にお問い合わせください。
デジタルスチルカメラの動画ファイル	MPEG-1 AVI	–	○	AVIは、動画再生の「Video for Windows」で標準サポートされているファイル以外は、扱えない場合があります。 ご使用のカメラのファイルフォーマットは機器の取扱説明書をご確認ください。
アナログテレビ放送	MPEG-2	–	○	• 地上デジタル放送やBSデジタル放送を録画したファイルなど、著作権保護されたファイルは転送できません。 • DVDレコーダーなどのAV機器で作成したDVDから読み込んだファイルの変換には対応していません。
映画や音楽などのDVD	MPEG-2	–	–	著作権保護されていますので、本機への転送はできません。

この表は、代表的なビデオコンテンツの例です。

*1 市販ソフトウェアやインターネット上のサービスなどには、さまざまなビデオ（YouTubeなど）に対して、PCへの取り込み、WALKMAN対応フォーマットへの変換ができるものがありますが、弊社ではそれらソフトウェアなどのご案内、フォーマット変換手順についてのご質問はお受けしておりません。

ビデオ/写真/ポッドキャストを再生する

Media Manager for WALKMANまたはWindowsのエクスプローラで転送したビデオは本機のビデオメニュー、写真はフォトメニュー、ポッドキャストはポッドキャストメニューに保存されます。それぞれ、ホームメニューから(ビデオ)、(フォト)、(ポッドキャスト)を選ぶと、再生できます。



1 **パソコンとの接続をはずして、ホームメニュー→(ビデオ)、(フォト)、(ポッドキャスト)のいずれかを選ぶ。**

ビデオ再生画面、写真表示画面、またはポッドキャスト再生画面が表示されます。
ビデオ再生画面やポッドキャスト再生画面では、►をタップすると再生が始まります。

ヒント

- ビデオ再生画面や写真表示画面で(サーチ)を選ぶと、サーチメニューが表示されます。サーチメニューから検索方法を選ぶと、リスト画面から希望のビデオや写真を選んで再生できます。詳しくは「詳細操作ガイド(PDF)」の「検索して再生する」をご覧ください。
- ポッドキャスト再生画面で(リストへ)を選ぶと、エピソードリスト画面が表示されます。また、エピソードリスト画面で(戻る)を選ぶと、ポッドキャストリスト画面を表示できます。リスト画面から希望のポッドキャストのエピソードを選んで再生できます。詳しくは「詳細操作ガイド(PDF)」の「検索して再生する」をご覧ください。
- ワンセグで録画した番組を、ホームメニューから(ビデオ)を選んで、ワンセグビデオとして再生することができます。ワンセグについては、☞ 45ページをご覧ください。
- Windowsのエクスプローラを使って転送するビデオファイルにサムネイル(一覧に表示するための小さな画像)を付けることができます。以下の規則に従って作成してください。
  - JPEG形式のファイルにする
  - 横160×縦120ドットにする
  - ビデオファイルと同じ名前の".jpg"ファイルとする
  - ビデオファイルと同じフォルダに置く

ご注意

- ファイル形式によっては、サムネイルが表示されないことがあります。

ビデオやポッドキャストのエピソードを削除する

1 **ビデオやポッドキャストを再生する手順の手順1（☞ 36ページ）までを行う。**

2 **（オプションメニュー）→「このビデオを削除」または「このエピソードを削除」→「はい」を選ぶ。**

ビデオやエピソードが削除されます。

ヒント

- リスト画面からでも削除ができます。リスト画面を表示中に（オプションメニュー）を選び、オプションメニューから「ビデオ削除」または「エピソード削除」を選んでから、削除するビデオやエピソードを選びます。
- ポッドキャスト内の全エピソードを削除することができます。エピソードリスト画面で（オプションメニュー）を選び、オプションメニューから「全エピソードを削除」を選びます。
- ビデオファイルは本機を使って削除する以外にパソコンと接続して削除することもできます。Media Manager for WALKMANで転送したものはMedia Manager for WALKMANで、Windowsのエクスプローラで転送したものはWindowsのエクスプローラを使って削除してください。

ご注意

- ポッドキャストのエピソードを削除するときは本機を使って削除してください。Media Manager for WALKMANを使うとファイルが削除されない場合があります。

写真を削除する

写真は本機では削除できません。パソコンと本機を接続し、Media Manager for WALKMANで転送したものはMedia Manager for WALKMANで、Windowsのエクスプローラで転送したものはWindowsのエクスプローラを使って削除してください。

ご注意

- 本機に転送後、Windowsのエクスプローラでファイル名を変更した場合、Media Manager for WALKMANでは削除できません。Windowsのエクスプローラを使って削除してください。

エクスプローラでドラッグアンドドロップした曲やビデオ、写真、ポッドキャストも本機で再生することができます。

1 付属のUSBケーブルで本機とパソコンを接続する。

USBケーブルのコネクタは、 を上にして本機に差し込みます。

2 Windowsのエクスプローラで本機を選ぶ。

本機は、エクスプローラ上では「WALKMAN」として表示されます。

3 転送するフォルダを開き、曲の場合は「MUSIC」フォルダ、ビデオの場合は「VIDEO」フォルダ、フォトの場合は「PICTURE」フォルダ、ポッドキャストの場合は「PODCASTS」フォルダにファイルをドラッグアンドドロップする。

ご注意

- 本機とパソコン間でのデータ転送中は、「USB接続を解除しないでください。」と表示されます。「USB接続を解除しないでください。」と表示されている間は、USBケーブルをはずさないでください。転送中のデータや本機内のデータが破損することがあります。
- 本機をパソコンに接続しているとき、パソコンの起動または再起動をすると、本機が正常に動作しないことがあります。その場合は、本機のRESETボタンを押して、本機をリセットしてください（☞72ページ）。パソコンを起動または再起動するときは、本機の接続をはずしてください。
- 「OMGAUDIO」フォルダ内のファイルやフォルダ名を変更したり、ファイルを転送したりしないでください。本機が正常に動作しなくなることがあります。

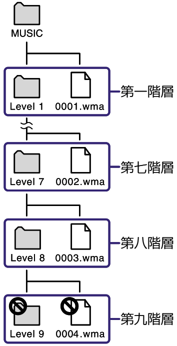


エクスプローラで転送するときの階層と本機の表示

曲

■ 再生できる階層

「MUSIC」フォルダ以下の、第八階層までのファイルが再生できます。第八階層のフォルダにさらにフォルダを作成してファイルを置いても再生できません。



ご注意

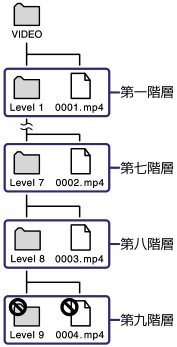
- 「MUSIC」フォルダのフォルダ名は変更しないでください。本機で表示されなくなります。
- ドラッグアンドドロップで転送した曲は、付属のSonicStageでは表示されません。
- 著作権保護された曲は、ドラッグアンドドロップでの転送では再生できません。

次のページへつづく☞

ビデオ

■ 再生できる階層

「VIDEO」フォルダ以下の、第八階層までのファイルが再生できます。第八階層のフォルダにさらにフォルダを作成してファイルを置いても再生できません。



ご注意

- 「VIDEO」フォルダのフォルダ名は変更しないでください。本機で表示されなくなります。

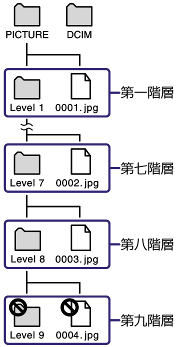
■ 本機での表示

初期状態ではビデオファイルは転送された順番に表示されます(最新のビデオがリストの先頭に表示されます)。

フォト

■ 再生できる階層

「PICTURE」、「DCIM」フォルダ以下の、第八階層までのファイルが再生できます。第八階層のフォルダにさらにフォルダを作成してファイルを置いても再生できません。



ご注意

- 「PICTURE」、「DCIM」フォルダのフォルダ名は変更しないでください。本機で表示されなくなります。

■ 本機での表示

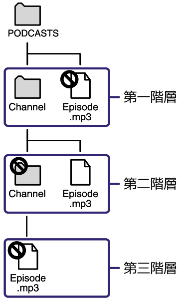
データは、数字、アルファベット、日本語の順に表示されます。「PICTURE」、「DCIM」フォルダ直下の写真は<PICTURE>、<DCIM>フォルダ内にあります。
「PICTURE」、「DCIM」フォルダの下にフォルダがある場合には、フォルダとして表示されます。フォルダをタップすると、フォルダ内のファイルを表示できます。

次のページへつづく☞

ポッドキャスト

■ 再生できる階層

「PODCASTS」フォルダ内にあるフォルダの、第二階層のファイルが再生できます。
「PODCASTS」フォルダ直下のファイルや、第三階層以下のファイルは再生できません。



ヒント

- 本機でポッドキャストを登録し、本機の無線LAN機能でエピソードをダウンロードすることもできます（☞ 68ページ）。

ご注意

- 「PODCASTS」フォルダのフォルダ名は変更しないでください。本機で表示されなくなります。
- エクスプローラで転送したポッドキャストは、本機を無線LANでインターネットに接続しても更新できません。更新したい場合は本機でポッドキャスト登録する（☞ 68ページ）か、またはMedia Manager for WALKMANでポッドキャスト登録してください。Media Manager for WALKMANでのポッドキャスト登録について、詳しくはMedia Manager for WALKMANのヘルプをご覧ください。

■ 本機での表示

エピソード名は、最新のエピソードから新着順に表示されます。Windowsのエクスプローラでパソコンから転送したエピソードは、新着順のリストのあとに名前順に表示されます。

ワンセグをご利用になる前に

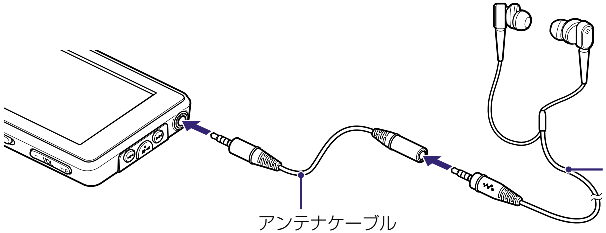
ワンセグをご利用いただくためには、はじめにチャンネルを設定する必要があります。
ワンセグのサービスエリア以外では、ワンセグを視聴／録画することができません。また、放送エリア内であっても、地形や構造物といった周囲の環境、本機を使用する場所や向き、電波状況によっては受信できないこともあります。ワンセグおよびサービスエリアについて詳しくは、以下のホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会 (Dpa) http://www.dpa.or.jp/

ご注意

- 日付と時刻が合っていないとワンセグの録画の機能が正しく動作しません。お買い上げ時は、ワンセグを視聴すると本機の時刻が放送波に含まれる時刻と同期する「ワンセグ放送と同期」に設定されています。録画をする前に日付と時刻が正しく設定されているかご確認ください（☞ 18ページ）。
- 本機は緊急警報放送、データ放送サービスには対応していません。
- 本機でアナログテレビ放送を視聴することはできません。
- ワンセグ放送には、番組の著作権保護のためにコピー制御信号が組み込まれています。本機は、著作権保護技術に対応しており、録画したワンセグビデオをパソコンなどへ転送しても、見ることはできません。また、パソコンにコピーしたファイルを本機に再度転送しても、再生することはできません。

ワンセグ用アンテナケーブルをつなぐ

ワンセグ放送を視聴するときは、付属のアンテナケーブルを接続し、ヘッドホンを接続してください。



ご注意

- アンテナケーブルを接続しないと、ワンセグ放送を受信するのに充分な感度の電波を受信できないことがあります。必ず、アンテナケーブルを接続してください。

チャンネルを設定する

ワンセグをご利用いただくためには、はじめにチャンネルを設定する必要があります。
ワンセグをはじめてお使いになるときは、ホームメニューから（ワンセグテレビ）を選ぶと、チャンネル設定確認画面が表示され、チャンネルを設定できます。

1. **ホームメニュー→（ワンセグテレビ）を選ぶ。**
   ワンセグをはじめてお使いになるときは、チャンネル設定確認画面が表示されます。
2. **「はい」を選ぶ。**
   チャンネル設定画面が表示されます。
3. **「地域指定」→お住まいの地域→「保存」を選ぶ。**
   保存先の選択画面が表示されます。
4. **チャンネルの保存先→「OK」を選ぶ。**
   チャンネルリストに保存されます。

次のページへつづく

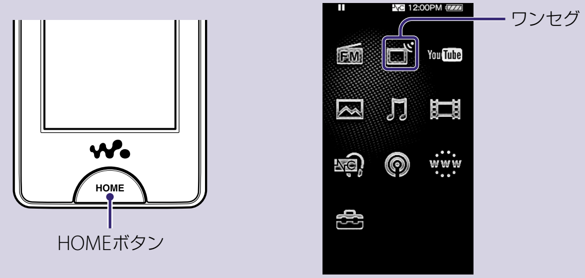
ヒント

- 設定したチャンネルリストでうまく受信できない場合や、引っ越しなどでお住まいの地域が変わったときは、設定をやり直すことができます。ホームメニューから(各種設定)→「ワンセグテレビ設定」→「チャンネル設定」→「地域指定」を選びます。
- 「地域指定」で設定したチャンネルリストでうまく受信できない場合は、ホームメニューから(各種設定)→「ワンセグテレビ設定」→「チャンネル設定」→「オートスキャン」を選んで設定してください。「オートスキャン」を行う場合は、付属のアンテナケーブルとヘッドホンのコードをできるだけ伸ばしてから行ってください。
- チャンネルリストは3つまで設定することができます。

ご注意

- チャンネルリストを変更しないまま選択した地域を超えて使用した場合、チャンネルが同じでも異なる放送局が受信される場合があります。使用する地域に対応したチャンネルリストを設定してください。

ワンセグを視聴する



設定したチャンネルを視聴することができます。

1 **ホームメニュー→(ワンセグテレビ)を選ぶ。**

ワンセグテレビ画面が表示されます。

＋(次のチャンネル)/－(前のチャンネル)をタップしてチャンネルを切り換えることができます。

ワンセグ

次のページへつづく☞

ヒント

- 番組表からワンセグ視聴することができます。ワンセグテレビ画面で（ワンセグメニュー）を選び、ワンセグメニューから「番組表」を選びます。
- 付属のアンテナケーブルとヘッドホンのコードの角度を調節することで受信状態を改善することができます。
- ワンセグテレビ画面で（字幕表示設定）を選ぶと、字幕表示を設定することができます。
- ワンセグテレビ画面で（オプションメニュー）を選ぶと、「ズーム設定」、「二重音声」、「音声信号」などの設定をすることができます。また、オプションメニューで「番組説明」を選ぶと、視聴中の番組の番組説明を表示できます。
- ワンセグテレビ画面で（オプションメニュー）→「画面オフ設定」を選んで「ホールド時画面オフ」に設定すると、ワンセグ視聴中にホールド状態にしたとき、画面をオフにして音声のみを楽しむことができます。またこれにより、消費電力を抑え、電池を長持ちさせることができます（☞ 71ページ）。

ワンセグを録画する

視聴している番組を録画したり、録画予約をすることができます。録画を行うときは、付属のアンテナケーブルとヘッドホンコードを束ねずにお使いください。
録画した番組は、ホームメニューから（ビデオ）を選んで、ワンセグビデオとして再生することができます（☞ 36ページ）。

ご注意

- 日付と時刻が合っていないとワンセグの録画の機能が正しく動作しません。お買い上げ時は、ワンセグを視聴すると本機の時刻が放送波に含まれる時刻と同期する「ワンセグ放送と同期」に設定されています。録画をする前に日付と時刻が正しく設定されているかご確認ください（☞ 18ページ）。

視聴中の番組を録画する

1 ホームメニュー →（ワンセグテレビ）→録画したい番組→を選ぶ。

録画を開始します。
視聴中の番組の終了時刻になると、録画は自動で停止します。録画を手動で停止する場合は、☞ 53ページをご覧ください。

ヒント

- 録画中にHOMEボタンを押したままにすると、画面表示、音声出力をせずに録画を行うことができます。録画が完了すると、再生待機状態になります。
- 別売のACアダプター AC-NWUM50Aを使えば、充電しながら録画することができます。

ご注意

- 本機で録画したワンセグビデオは、パソコンなどへ転送することはできません。
- 録画中は、オプションメニューで表示されるメニュー以外の操作はできません。また、パソコンとつないでデータを転送することもできません。録画中にはパソコンとはつながないでください。

次のページへつづく☞

録画予約する

1 ホームメニュー→(ワンセグテレビ)→(ワンセグメニュー)→「予約録画メニュー」→「日時指定予約」を選ぶ。

録画予約画面が表示されます。

放送局: チャンネルを設定します。

録画日: 録画が実行される日付を設定します。現在の日付を含む30日間から選ぶことができます。

録画時刻: 録画が実行される時刻を設定します。開始時刻と終了時刻を分単位で選ぶことができます。

毎回録画: 「オフ」に設定されています。設定した曜日に繰り返し録画を行うように設定することもできます。「毎週(日)」~「毎週(土)」、「毎週(月-木)」、「毎日」など、11種類から選ぶことができます。

上書録画: 「オフ」に設定されています。毎回録画の予約を行う場合、「オン」に設定すると、録画の実行時に古い回を自動的に削除し、新しい回を録画します。毎回録画を「オフ」以外に設定しているときのみ選択できます。

ヒント

- ワンセグメニューから「番組表」を選び、番組を選択することで録画予約を設定することもできます。

2 録画予約設定項目→希望の設定→「OK」を選ぶ。

設定を完了するまで手順2を繰り返します。

3 「予約確定」を選ぶ。

録画予約が設定されます。

録画予約を削除するには

予約リストを表示中に(オプションメニュー)を選び、オプションメニューから「録画予約削除」を選びます。削除したい録画予約を選んで、「はい」を選ぶと、録画予約が削除されます。

予約リストを表示するには、ワンセグテレビ画面で(ワンセグメニュー)を選び、ワンセグメニューから「予約リスト」を選びます。

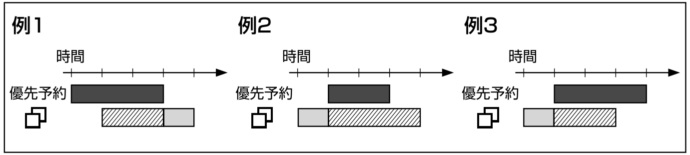
録画を停止するには

録画中にを選びます。

次のページへつづく

録画についてのご注意

- 本機で録画したワンセグビデオは、パソコンなどへ転送することはできません。
- 録画中は、オプションメニューで表示されるメニュー以外の操作はできません。また、パソコンとつないでデータを転送することもできません。録画中にはパソコンとはつながないでください。
- 録画予約の時間が重複していると、「他の予約と時間が重なっています。この予約が優先されますが、よろしいですか？」が表示されます。「はい」を選ぶと、選んだ予約が優先されます。
- 録画予約の時間が重複していると、予約時間のすべてを録画できない予約には、予約リストに予約重複アイコン( )が表示されます。



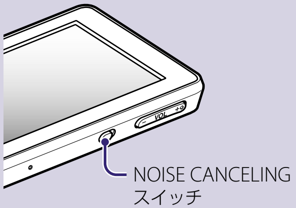
録画できない時間

- 録画予約できる番組数は100件です。
- 複数のチャンネルリストをお使いになる場合は、録画を実行する場所のチャンネルリストで録画予約の設定を行ってください。
- 録画終了時刻と次の録画開始時刻が同じときは、前の予約の最後部は録画されません。
- 以下のときは録画ができない、録画が途中で終了する、または録画が正しく行われないことがあります。
  - 電波受信が良くないとき
  - 電波受信ができないとき
  - USB接続をしているとき
  - 本機の電池残量が少ないとき
  - 本機の空き容量が少ないとき(☞ 103ページ)
  - すでにワンセグビデオが3,200件あるとき
  - 録画予約が重複しているとき
  - 日付と時刻が正しく設定されていないとき(☞ 18ページ)

ノイズキャンセリング機能を使う

周囲の騒音を低減させる

本機のNOISE CANCELINGスイッチをオンにすると、周囲の騒音を低減することができます。付属のヘッドホンを使っているときにのみノイズキャンセリング機能が働きます。



1 付属のヘッドホンを本機に接続し、NOISE CANCELINGスイッチを矢印の方向▶にスライドしてオンにする。

情報表示エリアに が表示されます。

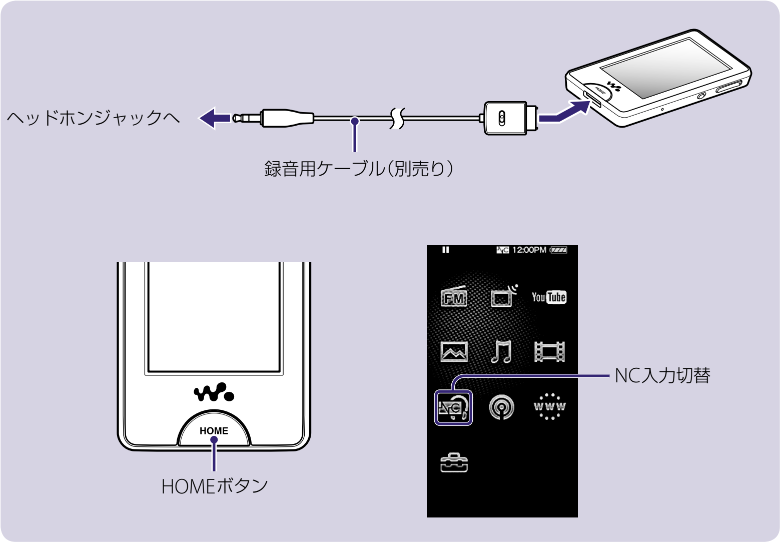
ご注意

- 付属のヘッドホン以外を使っているときにはNOISE CANCELINGスイッチをオンにしても、ノイズキャンセリング機能は働きません。その場合、情報表示エリアには が表示されます。
- ノイズキャンセリング機能をオンにすると、かすかにサーという音がしますが、ノイズキャンセリング機能の動作音で、故障ではありません。
- 静かな場所や、ノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング機能の効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じる場合があります。その場合は、NOISE CANCELINGスイッチをオフにしてください。

次のページへつづく☞

外部入力の音声をノイズキャンセルで聞く

ノイズキャンセリング効果を利用して、飛行機内のオーディオ機器などの音声を聞くことができます。



1 付属のヘッドホンを本機に接続し、NOISE CANCELINGスイッチを矢印の方向▶にスライドしてオンにする。

2 別売りの録音用ケーブル（WMC-NWR1）を本機のWM-PORTに接続し、オーディオ機器のヘッドホンジャックに接続する。

3 ホームメニュー→（NC入力切替）を選ぶ。
オーディオ機器からの音声がノイズキャンセリング効果で再生されます。

音楽を再生しないで周囲の音を低減する

ノイズキャンセリング効果を利用して、音楽を再生することなく、周囲の騒音を低減することができます。

1 付属のヘッドホンを本機に接続し、NOISE CANCELINGスイッチを矢印の方向▶にスライドしてオンにする。

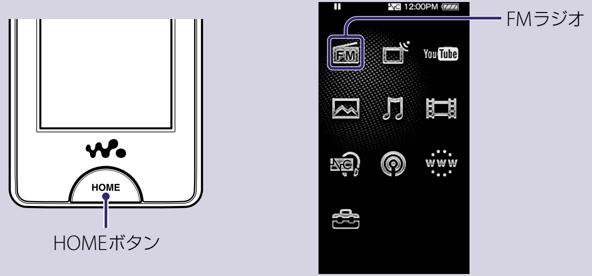
2 ホームメニュー→（NC入力切替）を選ぶ。
周囲の騒音が低減されます。

ヒント

- WM-PORTに録音用ケーブル（別売り）からの音声入力がある場合は、「外部入力」となります。「外部入力」と「サイレント」は、画面上の「外部入力」または「サイレント」を選んで切り換えることができます。外部入力の状態で、接続している録音用ケーブル（別売り）をはずした場合も、「外部入力」から「サイレント」に切り換わります。詳しくは、「詳細操作ガイド（PDF）」をご覧ください。
- 周囲の騒音を低減するデジタルフィルターの種類を選択することで、その場にもっとも効果的なノイズキャンセリング機能を設定することができます（環境選択）。詳しくは、「詳細操作ガイド（PDF）」の「環境選択」をご覧ください。

FMラジオ放送を楽しむ

本機のFMラジオでは、FMラジオ放送と地上アナログテレビ放送(1 ～ 3チャンネル)を楽しめます。
ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。コードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。



1 **ホームメニュー→FM(FMラジオ)を選ぶ。**
FMラジオ画面が表示されます。

2 **(オプションメニュー)→「オートプリセット」→「はい」を選ぶ。**
受信できる低い周波数の放送局から順番にプリセット登録されます。
登録が終了すると「オートプリセットを完了しました。」と表示され、最初に登録された放送局を受信します。

3 **+/−をタップして、お好みのプリセット番号を選ぶ。**
選んだ放送局を受信します。



ヒント

- FMラジオ放送の操作について詳しくは、「詳細操作ガイド(PDF)」の「FMラジオ放送を聞く」をご覧ください。

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

本機で接続できる無線LANの環境

以下の無線LANの環境で接続できます。

- 自宅の無線LAN
- 会社や学校の無線LAN
- 駅やファーストフード店などの公衆無線LAN

規格	IEEE 802.11b IEEE 802.11g
セキュリティー	WEP(128ビット/64ビット、オープンシステム認証) WPA-PSK(TKIP/AES) WPA2-PSK(TKIP/AES)
通信範囲	約50 m(通信範囲は、本機の使用条件や設定によって異なることがあります)

ご注意

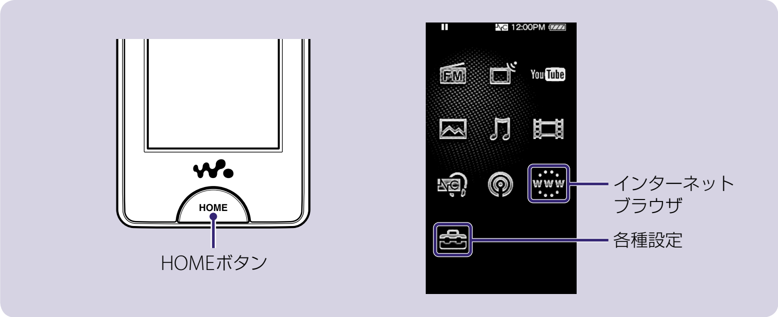
- アクセスポイントへの接続には、SSIDや暗号キーが必要になる場合があります。設定内容についてはアクセスポイントを設定した方にご確認ください。アクセスポイントの設定についてはアクセスポイントの取扱説明書をご覧になるか、アクセスポイント機器のメーカーにお問い合わせください。
- 設定内容は、会社や学校の無線LANに接続する場合はアクセスポイントを設定した方や管理者に、公衆無線LANのアクセスポイントに接続する場合は公衆無線LANサービス事業者にご確認ください。
- 本機は、アクセスポイント機器独自の自動セキュリティー設定機能には対応していません。詳しくは、アクセスポイント機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機はAOSS(AirStation One-Touch Secure System)には対応しておりません。
- 病院内や航空機内など、無線通信機器の使用が禁止されている場所では「無線LAN 機能のオン/オフ」設定を「オフ」にしてください。詳しくは「詳細操作ガイド(PDF)」の「無線LANの設定を変更する」をご覧ください。
- 公衆無線LANアクセスポイントに接続する場合、インターネットブラウザを使ってのログインが必要になることがあります。

無線LANに接続する

無線LANに接続するには、接続したいアクセスポイントをリストから選び、必要に応じて暗号キーを入力します。
通常は、インターネットブラウザ、YouTube、ポッドキャストなどで接続が必要になったとき、自動的に接続確認画面が表示されて、接続操作を行います。接続したいアクセスポイントの電波が届く範囲に移動して接続操作を行ってください。
ここではインターネットブラウザを例として説明します。

ご注意

- WPS方式でアクセスポイントに接続する場合には、「詳細操作ガイド(PDF)」の「無線LANの設定を変更する」をご覧になり、アクセスポイントを新規登録してから、接続操作を行ってください。



次のページへつづく☞

1 **ホームメニュー→（各種設定）→「無線LAN設定」→「無線LAN機能のオン/オフ」→「オン」→「OK」を選ぶ。**

- 「無線LAN機能のオン/オフ」が「オフ」（お買い上げ時の設定）になっていると、無線LANに接続できません。

2 **ホームメニュー→（インターネットブラウザ）を選ぶ。**

接続確認画面が表示されます。

3 **「はい」を選ぶ。**

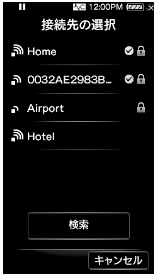
接続先の選択画面が表示されます。

- 接続先の選択画面には、設定済みの接続先と、通信範囲に設置されているアクセスポイントのリストが表示されます。

4 **接続したいアクセスポイントを選ぶ。**

暗号キー入力が必要な場合は入力画面が表示されます。

- 暗号キーが必要ない場合は接続中ダイアログが表示されます。接続が完了するとインターネットブラウザが表示されます。



5 **「WEPキー」または「WPAキー」の入力欄をタップし、画面上に表示されるキーボードを使って暗号キーを入力し、「OK」を選ぶ。**

接続中ダイアログが表示されます。接続が完了するとインターネットブラウザが表示されます。

- 入力のしかたについては、「文字を入力する」（☞ 12ページ）をご覧ください。
- 「暗号キーを保存する」にチェックを入れると、接続先が登録され、次回からは無線LAN接続画面で接続先を選ぶだけで接続できるようになります。
- WEPキー、WPAキーの設定内容は、アクセスポイントの取扱説明書をご覧になるか、アクセスポイントを設定した管理者、または公衆無線LANサービス事業者にご確認ください。



接続できないときは

アクセスポイントによっては詳細な項目を設定する必要があります。詳しくは「詳細操作ガイド（PDF）」の「無線LANの設定を変更する」をご覧ください。設定内容がわからないときは、アクセスポイントを設定した方や管理者、または無線LAN事業者にご確認ください。

ご注意

- 無線LANに接続中、本機が再生待機状態に入ったり、本機の電源を切ると、無線LANも切断されます。また、USB接続を開始したときにも切断されます。
- 一部の公衆無線LANサービスではインターネットブラウザによるログインが必要なことがあります。この場合、インターネットブラウザでログインサイトにアクセスしてログインするまでログインサイト以外のWebサイト閲覧やYouTube視聴、ポッドキャストのエピソードのダウンロードなどができません。詳しくは公衆無線LANサービス事業者にご確認ください。
- 信頼できるワイヤレスネットワークのみを登録してください。

次のページへつづく☞

ヒント

- アクセスポイントはホームメニュー→(各種設定)→「無線LAN設定」→「新規登録」で登録してから接続することもできます。接続したいアクセスポイントが接続先の選択画面に表示されないときも、この手順で登録してください。詳しくは「詳細操作ガイド（PDF）」の「無線LANの設定を変更する」をご覧ください。

無線LANを切断する

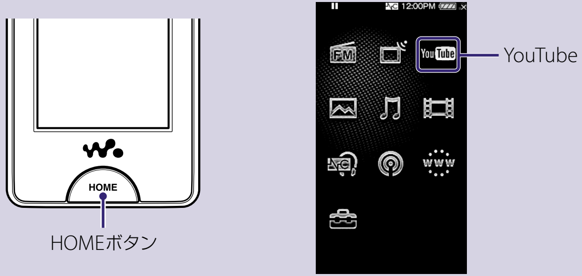
1 ホームメニュー→(各種設定)→「無線LAN設定」→「ネットワークから切断する」→「はい」を選ぶ。

ご注意

- 無線LANに接続中は電池が早く消耗します。長時間無線LANを使用しない場合は「無線LAN 機能のオン/オフ」を「オフ」に設定してください（☞ 62ページ）。
- 病院や航空機内など、無線通信機器の使用が禁止されている場所では「無線LAN 機能のオン/オフ」を「オフ」に設定してください（☞ 62ページ）。

YouTubeを見る

YouTubeを見るには、ホームメニューから(YouTube)を選んで、リスト画面を表示します。リストから見たい動画を選ぶと再生が始まります。



1 ホームメニュー→(YouTube)を選ぶ。
無線LAN未接続の場合は接続確認画面が表示されます。「無線LANに接続する」（☞ 61ページ）をご覧になり接続してください。
接続すると、リスト画面が表示されます。

2 見たい動画を選ぶ。
YouTube再生画面が表示され、動画の再生が始まります。

ヒント

- YouTube再生画面やリスト画面で(サーチ)を選ぶと、サーチメニューが表示されます。サーチメニューから検索方法を選ぶと、リスト画面から希望の動画を選んで再生できます。詳しくは「詳細操作ガイド（PDF）」の「検索して再生する」をご覧ください。

ご注意

- 日付と時刻が合っていないと、YouTubeが正しく表示されないことがあります。YouTubeを見る前に日付と時刻が正しく設定されているかご確認ください（☞18ページ）。

Webサイトを見る

Webサイトを見るには、ホームメニューから(インターネットブラウザ)を選んで、インターネットブラウザを表示します。
インターネットブラウザ右下の(メニュー)を選ぶと、アドレスの入力、お気に入り、インターネットブラウザの設定などの操作ができます。



1 **ホームメニュー →(インターネットブラウザ)を選ぶ。**
無線LAN未接続の場合は接続確認画面が表示されます。「無線LANに接続する」(☞ 61ページ)をご覧になり接続してください。
接続すると、インターネットブラウザの画面が表示されます。

2 **(メニュー)を選ぶ。**
インターネットブラウザの操作ボタンが表示されます。

3 **(アドレスの入力)を選ぶ。**
アドレスの入力画面が表示されます。

4 **Webサイトのアドレスを入力し、「OK」を選ぶ。**
アドレス入力欄をタップすると、キーボードが表示されます。
アドレスを入力してから、アドレスの入力画面に戻って「OK」を選ぶとWebページが読み込まれます。完了するとWebページが表示されます。
- 入力のしかたは「文字を入力する」(☞ 12ページ)をご覧ください。

ヒント
- キーボードのURL予測変換機能を使うと、「http://」などの定型句を簡単に入力できます。

ご注意
- 日付と時刻が合っていないと、Webページが正しく表示されないことがあります。Webページを見る前に日付と時刻が正しく設定されているかご確認ください(☞18ページ)。
- 本機は、インターネットの音楽ダウンロードサービスには対応していません。音楽ファイルは、必ずパソコンから転送してください。
- Webページによっては正しく表示または動作しない場合があります。画像や動画などを含む大容量のWebページなども表示できない場合があります。
- 本機のインターネットブラウザは、以下のような機能には対応しておりません。
  – Flash®コンテンツ
  – ファイルのダウンロード/アップロード
  – 音楽や動画のストリーミング再生
  – クリックすると別画面が開くWebページ
- 本機の使用条件や設定、ネットワークの状況により正しく表示または動作しない場合があります。

ポッドキャストを登録・ダウンロードする

本機でポッドキャスト登録して、本機の無線LAN機能でエピソードをダウンロードすることができます。ポッドキャストは本機のインターネットブラウザでRSSアイコンを選んで登録できます。



ヒント

- おすすめのポッドキャストリストを使うと簡単に登録できます。ポッドキャストリスト画面で (オプションメニュー)→「ポッドキャストリンク集へ」を選び、次ページの手順 **2** に進んでください。

本機のインターネットブラウザでポッドキャストを登録する

1 **ホームメニュー→ (インターネットブラウザ)を選ぶ。**

無線LAN未接続の場合は接続確認画面が表示されます。「無線LANに接続する」(☞ 61ページ)をご覧になり接続してください。

接続すると、インターネットブラウザが表示されます。

2 **登録したいポッドキャストのWebページを開き、RSSアイコンを選ぶ。**

RSSアイコンを選ぶとポッドキャストが登録されます。

- RSSアイコンはWebサイトによって異なります。Webサイトの説明をご覧になりRSSアイコンを選んでください。
- インターネットブラウザの使いかたは「Webサイトを見る」(☞ 66ページ)をご覧ください。

ご注意

- エクスプローラで転送したポッドキャストは、本機を無線LANでインターネットに接続しても更新できません。更新したい場合は本機でポッドキャスト登録するか、Media Manager for WALKMANでエピドードを転送すると、ポッドキャストが自動的に登録されます。エピソード転送方法の詳細については、Media Manager for WALKMANのヘルプをご覧ください。

エピソードをダウンロードする

登録したポッドキャストから、本機の無線LAN機能で最新エピソードをダウンロードできます。

1 ホームメニュー→（ポッドキャスト）→（リストへ）→（戻る）を選ぶ。

ポッドキャストリスト画面が表示されます。

2 希望のポッドキャスト→（オプションメニュー）→「このポッドキャストを更新」を選ぶ。

無線LAN未接続の場合は接続確認画面が表示されます。「無線LANに接続する」（☞ 61ページ）をご覧になり接続してください。

接続すると、ポッドキャスト内の最新エピソードのダウンロードが開始されます。

- 「キャンセル」を選ぶと、ダウンロードが中止されてエピソードリスト画面へ戻ります。
- 「スキップ」を選ぶと、エピソードのダウンロードが中止され、次のエピソードのダウンロードが開始されます。

ヒント

- 一括更新対象に設定しているすべてのポッドキャストから、最新エピソードを一括でダウンロードできます。ポッドキャストリスト画面で（オプションメニュー）を選び、オプションメニューから「ポッドキャスト一括更新」を選びます。登録されたポッドキャストの一括更新対象について詳しくは、「詳細操作ガイド（PDF）」の「ポッドキャストを一括更新対象にする/しない」をご覧ください。

再生時間について

本機の設定変更や電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し長時間使用できます。ここでは、電池を長持ちさせる方法をご紹介します。

手動で電源を切る

HOMEボタンを押したままにすると、画面表示が消えて再生待機状態になり、電池の消耗を抑えられます。

さらに、再生待機状態のまま最長で1日経過すると、自動的に電源が切れます。

電池を長持ちさせる設定

以下の設定にすると電池を長持ちさせることができます。

画面とビデオに関する設定の方法について詳しくは「詳細操作ガイド（PDF）」をご覧ください。

画面に関する設定	「輝度設定」	「1」
	「画面オフタイマー」	「15秒」
音質に関する設定（☞ 29ページ）	「イコライザ」	「オフ」
	「VPT（サラウンド）」	
	「DSEE（高音域補完）」	
	「クリアステレオ」	
	「ダイナミックノーマライザ」	
ノイズキャンセリング設定（☞ 55ページ）		NOISE CANCELINGスイッチをオフにする。
ビデオ、ワンセグに関する設定	「画面オフ設定」	「ホールド時画面オフ」

データのファイル形式やビットレートを変える

曲やビデオのフォーマットやビットレートによっても、電池の使用可能時間（連続再生時間）が変わります。充電時間や使用時間は☞ 104、105ページをご覧ください。

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、次の手順で解決方法をご確認ください。

1 **本書の☞ 74 ～ 91ページの各項目で調べる。**

2 **パソコンに接続して、充電をする。**
充電することで問題が解決することがあります。

3 **クリップなどの細い棒で、RESETボタンを押す。**
動作中にRESETボタンを押すと、本機に保存しているデータや設定が消去されることがあります。



4 **SonicStageやMedia Manager for WALKMANを使用しているときは、ソフトウェアのヘルプで調べる。**

5 **「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページで調べる（☞ 73ページ）。**
http://www.sony.co.jp/walkman-support/

6 **手順 1 ～ 5 を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口（☞最終ページ）またはお買い上げ店に相談する。**

サポートホームページで調べる

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページ
http://www.sony.co.jp/walkman-support/でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

サポートホームページを見るには

Internet Explorerなどのアドレス欄に
http://www.sony.co.jp/walkman-support/と入力してサポートホームページを表示します。
サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

- ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- 製品別サポート情報
- Q&A（よくある問い合わせ情報）
- SonicStageやMedia Manager for WALKMANなどのソフトウェアの使いかた
- 重要なお知らせ（サポートからの重要なお知らせ）
- カスタマー登録（カスタマー登録へのご案内）



＊ サポートホームページの内容は、2008年12月現在のものです。

次のページへつづく☞

(PDF ☞ XXページ)は、「詳細操作ガイド(PDF)」の参照ページです。

本機の操作に関するQ&A

Q　再生音が出ない

- 音量がゼロになっている。
  - → 音量を上げてください(☞ 8ページ)。
- ヘッドホンがジャックにしっかり差し込まれていない。
  - → 正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。「カチッ」と音がするまで差し込んでください(☞ 9ページ)。
- ヘッドホンのプラグが汚れている。
  - → 乾いた布でプラグの汚れを拭きとってください。

Q　曲やビデオが再生されない、写真が表示されない

- 電池が消耗している。
  - → 充分に充電してください(☞ 16ページ)。
  - → 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して本機をリセットしてください(☞ 72ページ)。
- ドラッグアンドドロップで転送した曲やビデオ、写真の階層が適切ではない(☞ 41ページ)。
- 本機で再生できないフォーマットのファイルを転送した。
  - → 再生できるファイルは、「主な仕様」の「再生できるファイルの種類」(☞ 100ページ)をご覧ください。ファイルの仕様によっては再生できないことがあります。

Q　曲を削除できない

- 曲は本機上で削除できません。
  - → SonicStageを使って転送したものはSonicStageを使って削除してください。Windowsのエクスプローラを使って転送したものはWindowsのエクスプローラを使って削除してください。

Q　転送したビデオ、写真、ポッドキャストがリストに表示されない

- 表示できる最大ファイル数を超えている。ビデオの最大表示数は2,000、写真の最大表示数は20,000、ポッドキャストのコンテンツの最大表示数は20,000です。ポッドキャスト一覧で表示できる最大ポッドキャスト数は1,000です。
  - → 不要なビデオ、写真、ポッドキャストを削除してください。
- 対応していないフォーマットで記録されたビデオや写真は本機で認識されず、リストに表示されません(☞ 100ページ)。
- パソコンから本機に転送したビデオのファイル名を変更したり、ファイルの場所を移動したりすると本機で認識されない場合があり、リストに表示されません。
- 適切なフォルダと階層にデータを置いていない。
  - → 適切なフォルダと階層にデータを置いてください(☞ 41ページ)。
- Windowsのエクスプローラで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化(フォーマット)した。
  - → 本機上で、内蔵フラッシュメモリーを初期化(フォーマット)してください(☞ 92ページ)。
- 転送中、本機からUSBケーブルがはずれた。
  - → 使用可能なファイルをパソコンに戻し、本機上で、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化(フォーマット)してください(☞ 92ページ)。

Q　1つのアルバムなど限られた範囲でしか再生されない

- 「再生範囲設定」(PDF☞ 51ページ)が「選択範囲内を再生」に設定されている。
  - → 再生範囲の設定を変更してください。

Q　写真を削除できない

- 写真は本機上で削除できません。
  - → Media Manager for WALKMANで転送したものはMedia Manager for WALKMANで、Windowsのエクスプローラで転送したものはWindowsのエクスプローラを使って削除してください。

Q　転送したアルバムが、複数になって表示される

- コンピレーションアルバムをSonicStageでパソコンに取り込む場合、複数のアルバムとして取り込まれることがあります。その場合は、SonicStageで1つのアルバムになるように編集してから、本機に転送し直してください。編集について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

次のページへつづく☞

Q 曲が転送順に表示されない

- 曲は転送順には表示されません。決まった曲順通りにしたい場合は、SonicStageでプレイリストを作成してから、本機に転送してください。プレイリストについて詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

Q 雑音が入る

- 静かな場所でノイズキャンセリング機能をオンにしている。
  - → 静かな場所や周囲の騒音の種類によってはノイズが大きくなると感じる場合があります。その際はノイズキャンセリング機能をオフにしてください（☞ 55ページ）。なお、付属のヘッドホンは、屋外や電車内など騒音の多い場所でノイズキャンセリング効果を最大限に生かすために、ヘッドホンの音圧感度を大幅に高めています。そのため、ノイズキャンセリング機能をオフにしても静かな場所ではかすかなホワイトノイズが聞こえる場合があります。
- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。
  - → 携帯電話などを本機から離して使用してください。
- CDなどから取り込んだ曲が破損している。
  - → データを削除して取り込み、転送し直してください。曲を取り込むときは、その他の作業を中止してください。データが破損する原因となることがあります。

Q ノイズキャンセリング機能の効果が得られない

- ノイズキャンセリング機能をオフにしている。
  - → NOISE CANCELINGスイッチをオンにしてください（☞ 55ページ）。
- 付属のヘッドホンを装着していない。
  - → 付属のヘッドホンを使用してください。
- ヘッドホンを正しく装着していない。
  - → イヤーピースを交換したり、おさまりの良い位置に調整するなど、ぴったりと耳に装着させるようにしてください（☞ 3ページ）。イヤーピースがはずれて耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際には、ヘッドホンにしっかり取り付けてください。
- ノイズキャンセル調整が適切に設定されてない可能性がある。
  - → 本機は、ノイズキャンセリング機能の効果が最も得られるようにあらかじめ設定されていますが、ヘッドホンに搭載されているマイクの感度を上げる（または下げる）ことで更に効果が得られる場合があります。ノイズキャンセルの調整をし直してください（PDF☞ 144ページ）。
- 「環境選択」で設定しているデジタルフィルターの種類が周囲の環境と合っていない。
  - → 周囲の環境に合わせて「環境選択」の設定を選んでください（PDF☞143ページ）。
- 静かな場所で使用している。
  - → 静かな場所や、周囲の騒音の種類によっては、ノイズキャンセリング機能の効果が感じられないことがあります。

Q VPT（サラウンド）設定、クリアステレオ機能の効果が感じられない

- 別売りのクレードルなどを使用して外部スピーカーに音声を出力した場合、ヘッドホンで聞いたときよりもVPT（サラウンド）設定やクリアステレオ機能の効果が感じられないことがあります。これはヘッドホンで最適になるように設計されているためで故障ではありません。

Q 本機が動作しない（ボタンやタッチパネル操作に反応しない）

- HOLDスイッチがHOLDの位置になっている。
  - → HOLDスイッチを逆の位置にスライドしてください（☞ 9ページ）。
- 結露している。
  - → そのまま約2、3時間おいてください。
- 電池の残量が少ない、または消耗している。
  - → 本機を起動中のパソコンに接続するなどして、充分に充電してください（☞ 16ページ）。
  - → 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して本機をリセットしてください（☞ 72ページ）。
- 本機はUSB接続中は操作できません。
  - → パソコンとの接続をはずして操作してください。

Q ボタン操作はできるがタッチパネルでの操作ができない

- HOLD（ホールド）設定で「タッチパネルのみ無効」に設定している（PDF☞ 151ページ）。
  - → HOLDスイッチを逆の方向にスライドしてください（☞ 9ページ）。

Q 再生を停止できない

- 本機では、再生の停止は一時停止になります。❚❚をタップするか、本体の▶❚❚ボタンを押すと、再生を一時停止します。

Q 再生音が大きくならない

- 「AVLS（音量制限）」が「オン」に設定されている。
  - → AVLS設定を解除してください（PDF☞ 146ページ）。

次のページへつづく☞

Q 右チャンネルから音が出ない、または右チャンネルの音が左右両方のヘッドホンから聞こえる

- ヘッドホンがジャックにしっかり差し込まれていない。
  - → 正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。「カチッ」と音がするまで差し込んでください（☞ 9ページ）。

Q 再生していたら急に音が止まった

- 電池の残量が少ない、または消耗している。
  - → 本機を起動中のパソコンに接続するなどして、充分に充電してください（☞ 16ページ）。
- 本機で再生できない曲、またはビデオを再生しようとしている。
  - → 別の曲やビデオを選び、再生してください。

Q サムネイル（ジャケット写真など）が表示されない

- 曲に適切な形式のジャケット写真情報が登録されていない。
  - → SonicStageでジャケット写真の登録をしてください。Windowsのエクスプローラで転送された曲はジャケット写真が表示されない場合があります。
- ビデオの場合、ビデオファイルと同じ名前のサムネイル画像が必要です。
  - → 本機の「VIDEO」フォルダ内にビデオファイルと同じ名前のJPEGファイルがある必要があります。
- 写真の場合、Exifに準拠したサムネイル情報が含まれていないと、サムネイルは表示されません。
  - → 付属のMedia Manager for WALKMANで転送し直してください。

Q 知らないうちに電源が切れて電源が入った

- 正常に動作しなくなったときに、本機では自動的に電源を入れ直します。

Q 本機の動作がおかしい

- 本機を接続したままの状態で、接続先のUSB機器（パソコンなど）の電源を入れた／切った。
  - → RESETボタンを押して本機をリセットしてください（☞ 72ページ）。USB機器の電源を入れる／切る場合は、USB機器から本機を取りはずしてから行ってください。

画面表示に関するQ&A

Q 画面に「□」と表示される

- 本機で表示できない文字が使用されている。
  - → SonicStageを使って転送した曲は、SonicStageを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。

Q 写真を表示中に、画面が暗くなった

- 写真を表示中に「画面オフタイマー」（PDF☞ 147ページ）で設定した時間以上操作がなかった。
  - → いずれかのボタンを押してください。

Q 表示が消える

- 「画面オフタイマー」（PDF☞ 147ページ）で設定した時間以上操作がなかった。
  - → いずれかのボタンを押してください。
- ビデオ設定またはワンセグ設定の「画面オフ設定」を「ホールド時画面オフ」に設定している。
  - → HOLDスイッチを逆の位置にスライドしてください（☞ 9ページ）。
  - → 「画面オフ設定」を「常時画面オン」に設定してください（PDF☞ 66、90ページ）。

電源に関するQ&A

Q 電池の持続時間が短い

- 5 ℃以下の環境で使用している。
  - → 電池の特性によるもので故障ではありません。
- 充電時間が足りない。
  - → FULL が表示されるまで充電してください。
- 本機の設定変更や電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し長時間使用できます（☞ 71ページ）。
- 本機を長期間使用していなかった。
  - → 何回か充放電を行うと、電池性能が回復します。
- 電池を充分に充電しても、使える時間がお買い上げ時の半分くらいになったときは電池が劣化しています。
  - → ソニーサービス窓口にお問い合わせください。

次のページへつづく☞

Q 充電できない

- USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない。
  - ➔ USBケーブルをいったんはずして、接続し直してください。
  - ➔ 付属のUSBケーブルを使用してください。
- 5 ℃～ 35 ℃の範囲外の環境で充電している。
  - ➔ 5 ℃～ 35 ℃の環境で充電してください。
- パソコンの電源が入っていない。
  - ➔ パソコンの電源を入れてください。
- パソコンがスタンバイ（スリープ）、休止状態に入っている。
  - ➔ パソコンのスタンバイ（スリープ）、休止状態を解除してください。
- 本機に対応していないACアダプターを使用している。
  - ➔ 本機に対応の別売りACアダプター（AC-NWUM50Aなど）を使ってください。
- USBハブを使用している。
  - ➔ USBハブを使用していると、表示されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。
- 非対応のOSのパソコンに接続している。
  - ➔ 対応しているOSのパソコンで充電してください。
- 上記に当てはまらない場合は、本機のRESETボタンを押してからUSB接続をし直してください。

Q 本機の電源が自動的に切れた

- 本機は電池の消耗を防ぐために自動的に再生待機状態（画面表示を消す）になります。
  - ➔ いずれかのボタンを押すと電源が入ります。

Q 充電がすぐに終わる

- 満充電に近い場合、すぐに充電が終わります。

パソコンとの接続に関するQ&A

Q インストールできない

- 対応OS以外のOSを使っている。
  - ➔ パソコンの動作環境を確認してください（☞ 裏表紙）。
- すべてのWindowsのソフトウェアを終了していない。
  - ➔ ほかのソフトウェアが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがあります。特にウイルスチェックソフトウェアは負担が大きいため、必ず終了してください。
- ハードディスクの空き容量が足りない。
  - ➔ ハードディスクの空き容量は450 MB以上必要なため、不要なファイルなどを削除してください。
- Administrator権限またはコンピュータの管理者以外でログオンしている。
  - ➔ Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしていない場合、インストールできないことがあります。Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしてください。また、ユーザー名に全角文字をご使用の場合は、半角英数字のユーザー名で新規のアカウントを作成してください。
- メッセージダイアログがインストール画面の後ろに隠れていて、インストール作業が止まっているように見える場合がある。
  - ➔ [Alt]キーを押しながら[Tab]キーを数回押してください。ダイアログが表示されたら、メッセージに従って操作してください。
- 日本語以外のOSを使っている。
  - ➔ 日本語OS以外にはインストールできません。

Q インストール時に画面上のバーが動いていない。または、ハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない

- インストール作業は正常に行われているため、そのままお待ちください。お使いのパソコンによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合があります。

次のページへつづく☞

Q　インストーラーが自動起動しない

- CD-ROMを挿入したとき、インストールプログラムが自動的に起動しなかった場合は、Windowsのタスクバーから[スタート]-[マイコンピュータ]の順にクリックし、CDドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

Q　SonicStage、またはMedia Manager for WALKMANが起動しない

- WindowsのOSをバージョンアップするなど、パソコン環境を変更すると、起動しない場合があります。「ウォークマン カスタマーサポート」（http://www.sony.co.jp/walkman-support/）のホームページで調べてください。

Q　USBケーブルでパソコンにつないでも、本機の画面に「USB接続中」と表示されない（本機がパソコンに認識されない）

- USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない。
  - → USBケーブルをいったんはずして、接続し直してください。
  - → 付属のUSBケーブルを使用してください。
- USBハブを使用している。
  - → USBハブを使用していると、表示されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。
- 接続しているUSBコネクタに不具合がある可能性があります。パソコンの別のUSBコネクタに接続してください。
- ソフトウェアの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。
- ソフトウェアのインストールに失敗している。
  - → 付属のCD-ROMに入っているインストーラーを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください。取り込んだデータは引き継がれます。
- 接続機器にUSBケーブルで本機をつなぐ前に、本機をUSB接続待機状態に設定することにより、より確実にUSB接続することができます。
  - → ホームメニューから（各種設定）→「共通設定」→「USB接続モード」→「はい」を選んでください（PDF☞ 153ページ）。本機がUSB接続待機状態になり、USB接続待機中画面が表示されます。
- 上記に当てはまらない場合は、本機のRESETボタンを押してからUSB接続をし直してください。

Q　転送できない

- USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない。
  - → USBケーブルをいったんはずして、接続し直してください。
- 本機の空き容量が不足している。
  - → 不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
- 本機に転送できるプレイリストは8,192です。それを超える曲数またはプレイリストは転送できません。また、1プレイリストにつき999曲を超える曲数は転送できません。
- 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できない場合があります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお問い合わせください。
- 本機に異常のあるデータが入っている。
  - → 必要なデータをパソコンに戻し、本機を初期化（フォーマット）してください（☞ 92ページ）。
- 付属のソフトウェアを使っていない。
  - → 付属のソフトウェアをインストールし、データを転送してください。
- データが破損している。
  - → 転送できないデータをパソコンから削除し、もう一度そのデータを取り込み直してください。パソコンにデータを取り込むときは、その他の作業を中止してください。データが破損する原因となることがあります。
- 本機で再生できないフォーマットのファイルを転送しようとしている。
  - → Media Manager for WALKMAN で転送できるファイルは、「主な仕様」の「再生できるファイルの種類」（☞ 100ページ）をご覧ください。ファイルの仕様によっては転送できないことがあります。

Q　転送に時間がかかる

- ファイルサイズの大きなデータを本機に転送した。
  - → ファイルサイズが大きいと転送に時間がかかることがあります。

Q　転送できるデータが少ない（録画できる時間が少ない）

- 本機の空き容量が不足している。
  - → 不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
- 本機で再生するデータ以外のデータが入っている。
  - → 本機で再生するデータ以外のデータが入っていると、転送できる曲やビデオ、写真、録画できる時間が減ります。本機で再生するデータ以外のデータをパソコンに移動するなどして、本機の空き容量を増やしてください。

次のページへつづく☞

Q パソコンに曲を戻せない

- 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている。
  - ➔ SonicStageで転送した曲は転送したパソコンと異なるパソコンには曲を戻せません。はじめに曲を転送したパソコンへ戻してください。パソコンに曲を戻せず本機の曲を削除する場合は、SonicStageで曲を選んで 削除してください。
- 転送元のパソコンで曲を削除した。
  - ➔ 転送元のパソコンで曲を削除すると、曲を戻せません。

Q パソコン接続中の動作が安定しない

- USBハブまたはUSB延長ケーブルを使用している。
  - ➔ USBハブまたはUSB延長ケーブルを使用すると、動作が安定しないことがあります。パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。

無線LANに関するQ&A

Q 無線LANに接続しない

- 「無線LAN機能のオン/オフ」が「オフ」に設定されている。
  - ➔ 「オン」に設定してください(☞ 62ページ)。
- アクセスポイントに接続し直してください(☞ 61ページ)。
- アクセスポイントに接続するために、暗号化キー(WEP/WPA)やその他の特別な設定(固定IPアドレス、プロキシ設定など)が必要か確認してください(PDF☞ 155ページ)。
- アクセスポイントの暗号化設定がWEPの152bit長暗号キーまたは共有鍵認証を使用している。
  - ➔ 本機はWEPの152bit長暗号キーおよび共有鍵認証には対応しておりません(PDF☞ 157ページ)。
- アクセスポイント側でSSIDを隠す設定をしている。
  - ➔ その場合、アクセスポイントのリストに表示されないことがあります。表示されないときは、SSIDを手動入力で設定してください(PDF☞ 155ページ)。
- 公衆無線LANのアクセスポイントでは、Webブラウザでログイン IDとパスワードを入力しないとインターネットを使用できない場合があります。
  - ➔ 接続している公衆無線LANのサービスを確認してください。
- アクセスポイントの設定が、本機でサポートしていないセキュリティー設定になっている。
  - ➔ ネットワーク管理者に確認してください。
- アクセスポイント側でMACアドレスの制限をしている。
  - ➔ 本機のMACアドレスを確認し(PDF☞ 165ページ)、アクセスポイント側にそのMACアドレスを登録後、接続してください。
- アクセスポイント側の設定が正しくない。
  - ➔ アクセスポイントの取扱説明書や、ネットワーク管理者に確認して、設定し直してください(PDF☞ 155ページ)。
- ワイヤレスネットワークの通信範囲外にいる。
  - ➔ 通信範囲内に移動してください。
- 本機とワイヤレスネットワークの間に、壁や金属、コンクリートなどの障害物がある。
  - ➔ 違う場所で接続してください。
- 2.4GHz帯の周波数を使用する機器(コードレス電話や電子レンジ、Bluetoothを使用するコンピュータ機器など)が近くにある。
  - ➔ その機器を遠くへ置くか、その機器の電源を切ってください。
- ネットワークサービスが、一時的に使用できない状態か、不安定な状態になっている。
  - ➔ ネットワーク管理者に状況を確認してください。

Q アクセスポイントが近くにあるのに、接続先の選択画面にアンテナが1本も表示されない

- 接続先の選択画面の電波強度は、接続先の選択画面を表示したとき、または「検索」を選んだときに更新されます。
  - ➔ 「検索」を選んで、電波強度の表示を更新してください。

Q 特定のアプリケーションで無線LANを使えない

- 公衆無線LANのアクセスポイントでは、Webブラウザでログイン IDとパスワードを入力しない状態では自社サイトの一部のみ閲覧可能など、サービスを制限している場合があります。
  - ➔ 接続している公衆無線LANのサービスを確認してください。
- 公衆無線LANのアクセスポイントでは、使用できるサービスを制限している場合があります。
  - ➔ 違うアクセスポイントに接続し直してください。

次のページへつづく☞

Q　接続したいアクセスポイントがリストに表示されない

- アクセスポイント側でSSIDを隠す設定をしている。
  - → その場合、アクセスポイントのリストに表示されないことがあります。表示されないときは、SSIDを手動入力で設定してください（PDF☞ 155ページ）。

Q　無線LANのアンテナ表示がされているが、インターネットに接続できない

- 接続先のサーバーの状況などにより接続できないことがあります。
  - → しばらくしてから接続し直してください。

ワンセグに関するQ&A

Q　映像が映らない

- 視聴している場所、地域がワンセグの放送エリアではない。
  - → ワンセグの放送エリア内で視聴してください。ワンセグ放送およびサービスエリアの詳細については、Dpa（社団法人デジタル放送推進協会）のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）をご覧ください。
- 電波の受信状態が悪い場所では、ワンセグを視聴することはできません。
  - → 電波の受信状況が良好かどうか確認してください。
- 屋内で使用している。
  - → 鉄筋造りのビルなどでは電波の受信が悪くなります。窓際や屋上など、電波を受信しやすいところでお使いください。
- 金属製の机や台の上で本機を使用している。
  - → 電波を受信しにくくなりますので、使用場所を変更してください。
- 正しいチャンネル設定が行われていない可能性があります。
  - → 使用する地域に対応したチャンネルの設定（☞ 47ページ）またはオートスキャン（PDF☞ 72ページ）を行ってください。
- 付属のアンテナケーブルが接続されていない。またはしっかり挿入されていない。
  - → アンテナケーブルが正しく接続されているか確認してください（☞ 46ページ）。

Q　特定の放送局が映らない

- 正しいチャンネル設定が行われていない可能性があります。
  - → 使用する地域に対応したチャンネルの設定（☞ 47ページ）またはオートスキャン（PDF☞ 72ページ）を行ってください。
  - → 電波状態の良い場所でチャンネルを設定してください（☞ 47ページ）。

Q　字幕が表示されない、または二重音声などが機能しない

- 視聴している番組が字幕表示、二重音声などに対応していません。

Q　番組表の数が少ない

- 放送局または時間帯によって、番組表の数が少なくなることがあります。

Q　雑音が多く、音が悪い

- 近くでパソコンや携帯電話などの電気製品を使用している。
  - → 携帯電話などを本機から離してください。

Q　録画ができていない

- 以下のときは録画ができない、または録画が正しく行われないことがあります。
  - → 電波受信が良くないとき
  - → 電波受信ができないとき
  - → USB接続をしているとき
  - → 本機の電池残量が少ないとき（☞ 16ページ）
  - → 本機の空き容量が少ないとき（☞ 103ページ）
  - → すでにワンセグビデオが3,200件あるとき
  - → 録画予約が重複しているとき（PDF☞ 85ページ）
  - → 日付と時刻が正しく設定されていないとき（☞ 18ページ）
- 電池を使い切った状態でしばらく放置すると、日付と時刻がリセットされ録画予約が正しく動作しないことがあります。
  - → 本機の日付と時刻を正しく設定してください（☞ 18ページ）。

Q　録画できなかった番組一覧の原因に「USB接続中・電池残量不足など」と表示されている

- 録画できない原因として、以下の可能性があります。
  - → USB接続をしているとき
  - → 本機の電池残量が少ないとき（☞ 16ページ）
  - → 録画予約が重複しているとき（PDF☞ 85ページ）
  - → 日付と時刻が正しく設定されていないとき（☞ 18ページ）

次のページへつづく☞

Q　以前録画したワンセグビデオがなくなっている

- 上書録画の設定がされている可能性があります。
  - → 毎回録画で録画予約を行っている場合、上書録画の設定を解除してください（☞ 52ページ）。

Q　録画したワンセグビデオがコマ落ちしている、または正常に再生できない

- 録画中に電波状況が悪かった場合、正常に再生できないことがあります。
  - → 録画は、電波状況が良好な場所で行ってください。
  - → 本機に付属のアンテナケーブルが接続されているか確認してください。

Q　「ズーム設定」を「オート」にしているのに画像の端が黒く表示される

- 番組によっては「ズーム設定」の「オート」に対応していません。
  - → 「ズーム設定」を「フル」に設定してください（PDF☞ 88ページ）。

FMラジオに関するQ&A

Q　FMラジオ放送がよく聞こえない

- 受信している周波数が適切でない。
  - → ∧/∨をタップして、放送がもっともよく聞こえる周波数を選局してください。

Q　雑音が多く、音が悪い

- 電波が弱い。
  - → 建物や乗り物内では電波が弱い場合があります。窓際に近づくなどして電波の入りやすい場所を選んでください。
- ヘッドホンのコードが伸びていない。
  - → ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。
- 「モノラル/オート」が「オート」に設定してある場合は、受信感度は受信時の状態によって自動設定されます。
  - → 受信感度が悪い場合は、「モノラル/オート」を「モノラル」に設定してください（PDF☞ 103ページ）。

Q　雑音が入る

- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。
  - → 携帯電話などを本機から離して使用してください。

YouTubeに関するQ&A

Q　音声や映像が途切れる

- 無線LANの転送速度が遅い。
  - → アクセスポイントの近くに移動するか、別のアクセスポイントに接続してください。または、バッファリングが完了するまで一時停止してから再生してください。

Q　一部の動画がリストに表示されない

- YouTubeにより未成年には不適切な可能性があると指定された動画は本機で表示・再生できません。

Q　YouTubeに接続できない

- 無線LANに接続していない（☞ 61ページ）。
- 公衆無線LANのアクセスポイントでは、WebブラウザでログインIDとパスワードを入力しないとインターネットを使用できない場合がある。
  - → 接続している公衆無線LANのサービスを確認してください。

Q　タイムラインバーの後半部分に移動できない

- バッファリングが完了していない。
  - → バッファリングが済んでいない部分にはインジケータ（再生位置）を移動できません。完了してから移動してください。

ポッドキャストに関するQ&A

Q　ポッドキャストを更新できない

- Windowsのエクスプローラでエピソードのみ転送したポッドキャストは更新できません。
  - → 本機またはMedia Manager for WALKMANでポッドキャストを登録してください。

Q　一括更新でエピソードがダウンロードされない

- ポッドキャストが一括更新対象になっていない。
  - → 一括更新対象に設定してください（PDF☞ 116ページ）。

Q　エピソードを再生できない

- エピソードのファイルフォーマットに対応していない。
  → 本機で再生できるファイルフォーマットを確認してください(☞ 100ページ)。

Q　エピソードのダウンロード件数が少ない

- ダウンロード済みのエピソードはダウンロードされません。
- 未対応フォーマットのエピソードはダウンロードされません(☞ 100ページ)。

インターネットブラウザに関するQ&A

Q　特定のWebページが正しく表示されない

- Webページを作成する基準や技術は多岐にわたるため、全ページが正しく表示されないことがありますのでご了承ください。
- 日付と時刻の設定が間違っている。
  → 正しい日時を設定してください(☞ 18ページ)。
- JavaScriptが無効になっている。
  → 有効にすると表示されることがあります(PDF☞ 136ページ)。

Q　インターネットブラウザのリストがスクロールできない

- 「お気に入り」、「履歴」、「タイムゾーン」のリストが画面のドラッグでスクロールできない。
  → ◀(前)/▶(次)をタップしてスクロールしてください。

その他のQ&A

Q　タッチパネルが正常に動作しない

- 液晶保護シート、プライバシーフィルターが正常に貼り付けられていない。液晶画面の縁に乗っていたり、潜り込んでいるときは貼り直してください。ソニーの液晶保護シート(別売り)以外を使用した場合、製品によってはタッチパネルの動作を妨げる場合があります。
- HOLDスイッチがHOLDになっていないか確認してください(☞ 9ページ)。

Q　操作時の確認音が鳴らない

- 「操作確認音」の設定が「オフ」になっている。
  → 「操作確認音」の設定を「オン」にしてください(PDF☞ 146ページ)。
- 別売りのクレードルなどに接続している場合、操作確認音は鳴りません。

Q　本体が温かくなる

- 充電中または充電直後に本体が一時的に温かくなることがあります。また、大量のデータを転送した場合も、一時的に温かくなることがあります。しばらく放置してください。

Q　日付と時刻がリセットされる

- 電池を使いきった状態でしばらく放置すると、日付と時刻がリセットされる場合がありますが、故障ではありません。FULL が表示されるまで充電し(☞ 16ページ)、日付と時刻を設定し直してください(☞ 18ページ)。

Q　ヘッドホンを抜き差しするとノイズが聞こえる

- ヘッドホンの抜き差しはヘッドホンを耳からはずして行ってください。音楽を再生した状態や、ノイズキャンセリング機能が働いたままでヘッドホンを抜き差しするとヘッドホンからノイズが発生しますが、故障ではありません。

本機のメモリーを初期化（フォーマット）するには

下記の手順に従って必ず本機上で行ってください。初期化すると記録されたデータ（お買い上げ時にあらかじめインストールされているサンプルデータを含む（☞ 107ページ））はすべて消去されますので、初期化する前に内容を確認してください。

1 **ホームメニュー➜（各種設定）➜「共通設定」➜「各種初期化」➜「メモリー初期化」➜「はい」➜「はい」の順に選ぶ。**
「はい」を選ぶと初期化が始まります。初期化が終了すると「メモリーの初期化が完了しました。」と表示されます。

使用上のご注意

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

無線LAN機能について

本機内蔵の無線LAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

無線の周波数について

本機は2.4GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上のご注意

本機の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1）本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2）万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

3）不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この無線機器は2.4GHz帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40mです。

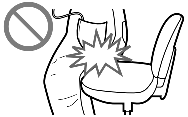
次のページへつづく☞

充電について

- 充電時間は電池の使用状態により異なります。
- 電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。

本機の取り扱いについて

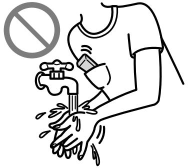
- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。本機の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
    変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
  - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)
  - ホコリの多いところ
  - ぐらついた台の上や傾いたところ
  - 振動の多いところ
  - 風呂場など、湿気の多いところ
  - 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離してください。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口(☞ 最終ページ)に相談してください。
- 本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。



  - 本体にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。



- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。
  特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などでポケットに入れての使用
    身体をかがめたときなどに落として水濡れの原因となる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
  - 汗をかく状況での使用
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。



- ヘッドホンを本体からはずすときは、ヘッドホンのプラグを持ってはずしてください。コードを持って引っ張ると断線の原因となる場合があります。
- イヤーピースは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。

ご使用について

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら使用しないでください。特にノイズキャンセリング機能は周囲の音を遮断しますので、警告音なども聞こえにくくなります。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。
- 飛行機内で使用する際は、離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。
- 本機を寒い場所から急に暖かいところに持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。
  結露が生じたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

次のページへつづく☞

画面表示部についてのご注意

有機EL画面を強く押さないでください。有機EL画面の故障の原因になります。

画面表示部について

本機の画面表示部はガラス製です。
本機を固いものの上に落としたり強い衝撃を与えたりすると、画面表示部が割れる恐れがありますので、お取り扱いには充分注意してください。ガラスが欠けたり割れたりしたときは、使用を中止し破損部に手を触れないでください。けがをする恐れがあります。

有機ELについて

長時間同じ表示を続けたり、繰り返し同じ表示をすると、画面に永続的な焼き付きが発生することがあります。 画面を保護するため、焼き付きが発生しやすい画像をできるだけ避け、注意事項を守りお使いください。

焼き付きについて

一般に、有機ELパネルは、その高精細な画像を得るために採用している材料の特性上、焼き付きが起こることがあります。画面内の同じ位置に変化しない画像の表示を続けたり、繰り返し表示したりすると、焼き付いた画面を元に戻せなくなります。

焼き付きが発生しやすい主な画像

- 上下に帯が表示されるワイド画像(レターボックス映像)
- 画面横縦比4:3の画像
- 写真や長時間静止した画像

焼き付きを軽減するには

- 画面いっぱいに映像を映す
  「ズーム設定」を「オート」や「フル」に切り換えて表示します。

本機を廃棄するときのご注意

Li-ion

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。(「ソニーの相談窓口」の連絡先は☞最終ページに記載されています。)

お手入れ

本体表面の汚れは

- 柔らかい布（市販のめがね拭きなど）で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

イヤーピースのお手入れについて

ヘッドホンからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよく拭いてからご使用ください。

付属のソフトウェアについて

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本機に付属のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
  - 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
  - ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。

- あなたが録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録画やダウンロードができなかった場合、および音楽、ビデオ、写真データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 以下の理由により、一部の文字や記号が本機上で正しく表示されない場合があります。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
  - コンテンツやファイルの情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

主な仕様

再生できるファイルの種類

ミュージック（ポッドキャストを含む）		
音声圧縮形式 （コーデック）	MP3	ビットレート：32 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 サンプリング周波数*1：32、44.1、48 kHz
	WMA*2	ビットレート：32 ～ 192 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 サンプリング周波数*1：44.1 kHz
	ATRAC	ビットレート：48 ～ 352 kbps（66*3、105*3、132 kbpsはATRAC3） サンプリング周波数*1：44.1 kHz
	ATRAC Advanced Lossless*4	ビットレート：64 ～ 352 kbps（132 kbpsはATRAC3 base layer） サンプリング周波数*1：44.1 kHz
	リニアPCM	ビットレート：1,411 kbps サンプリング周波数*1：44.1 kHz
	AAC*2	ビットレート：16 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応*5 サンプリング周波数*1：8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
	HE-AAC	ビットレート：32 ～ 144 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 サンプリング周波数*1：24 kHz

ビデオ（ポッドキャストを含む）		
ビデオ圧縮形式 （コーデック）	AVC （H.264/AVC）	ファイルフォーマット：MP4ファイルフォーマット、メモリースティックビデオフォーマット 拡張子：.mp4、.m4v プロファイル：Baseline Profile レベル：1.2、1.3 ビットレート：最大768 kbps フレーム数：最大30 fps 解像度：最大 320×240
	MPEG-4	ファイルフォーマット：MP4ファイルフォーマット、メモリースティックビデオフォーマット 拡張子：.mp4、.m4v プロファイル：Simple Profile ビットレート：最大2,500 kbps フレーム数：最大30 fps 解像度：最大320×240
	Windows Media Video 9	ファイルフォーマット：ASFファイルフォーマット 拡張子：.wmv プロファイル：VC1 Simple Profile, Main Profile ビットレート：Simple Profile 最大1,700 kbps, Main Profile 最大5,000 kbps フレーム数：最大30 fps 解像度：Simple Profile 最大480×270, Main Profile 最大320×240
音声圧縮形式 （コーデック）	AAC-LC （AVC、MPEG-4用）	チャンネル数：最大2 チャンネル サンプリング周波数：24、32、44.1、48 kHz ビットレート：1チャンネルあたり最大 288 kbps
	WMA（Windows Media Video 9用）	ビットレート：32 ～ 192 kbps（可変ビットレート（VBR）対応） サンプリング周波数*1：44.1 kHz
ファイルサイズ	最大2 GB	
ファイル数	最大2,000ファイル	

*1 すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。
*2 著作権保護されたファイルは再生できません。
*3 SonicStageでは、ATRAC3 66/105 kbpsのCD録音はできません。
*4 ATRAC Advanced Losslessのビットレート表記は、ATRAC対応機器・メディアに高速転送可能なコンテンツのビットレートを意味します。
*5 サンプリング周波数によっては、規格外および保証外の数値も含みます。

次のページへつづく☞

フォト*6		
写真圧縮形式（コーデック）	JPEG	DCF 2.0/Exif 2.21のファイルフォーマットに準拠 拡張子: .jpg JPEG(Baseline) 4,096×4,096 ピクセルまで
ファイル数	最大20,000ファイル	

*6 データの種類によっては表示できないものがあります。

記録できる最大曲数と時間の目安

1曲4分のATRAC形式*1およびMP3形式の曲だけを転送･録音した場合で計算しています。他の再生できる音楽ファイル形式では、増減する可能性があります。

*1 ATRAC Advanced Losslessは除きます。ATRAC Advanced Losslessは楽曲により圧縮率が異なります。例えば、CD1枚（4分の曲が15曲入っていた場合）が約200 MB ～ 500 MBになります。

	NW-X1050		NW-X1060	
ビットレート	曲数	時間	曲数	時間
48 kbps	10,800曲	約720時間00分	21,850曲	約1,456時間40分
64 kbps	8,100曲	約540時間00分	16,400曲	約1,093時間20分
128 kbps	4,100曲	約273時間20分	8,350曲	約556時間40分
256 kbps	2,050曲	約136時間40分	4,200曲	約280時間00分
320 kbps	1,650曲	約110時間00分	3,350曲	約223時間20分
1,411kbps（リニアPCM）	350曲	約23時間20分	750曲	約50時間00分

記録できるビデオファイルの最大時間の目安

本機にビデオのみを転送した場合で計算しています。使用状況によっては増減する可能性があります。

	NW-X1050	NW-X1060
ビットレート*1	時間	時間
384 kbps	約63時間00分	約127時間20分
768 kbps	約36時間00分	約72時間40分

*1 映像のビットレート。音声のビットレートは128 kbps。

記録できるワンセグビデオファイルの最大時間の目安*1

本機にワンセグのみを録画した場合で計算しています。使用状況によっては増減する可能性があります。

	NW-X1050	NW-X1060
ビットレート*1	時間	時間
350 kbps	約100時間00分	約200時間00分

*1 1番組、8時間まで録画可能。最大3,200ファイルまで録画可能。

記録できる最大写真枚数

最大 20,000枚
ファイルサイズによっては記録できる最大写真枚数が少なくなります。

容量（ユーザー使用可能領域）*1

NW-X1050：16 GB
（約14.9 GB = 16,100,851,712 バイト）
NW-X1060：32 GB
（約30.2 GB = 32,521,912,320バイト）

*1 本機では、メモリーの一部をデータ管理領域として使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示とは異なります。

次のページへつづく☞

ヘッドホン出力

周波数特性

20 ～ 20,000 Hz（44.1 kHzサンプリング時、単信号測定）

総騒音抑制量（TNSR）*[1]

約 17 dB

*[1] 当社規定の航空機シミュレートノイズ下において、「環境選択」を「航空機」に設定時とヘッドホン非装着時との比較による値です。総騒音抑制量（当社測定法による）約17 dBは音のエネルギーで約98.0%の騒音低減に相当します。

FMラジオ放送受信周波数

76.0 ～ 90.0 MHz（TV*[1] 1 ～ 3CH）

*[1] 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

IF（FM）

128 kHz

ワンセグチューナー

受信チャンネル　T V：13-62ch

アンテナ

ヘッドホンコードアンテナ

ワイヤレスLAN

規格：IEEE 802.11b/g

暗号化：WEP/WPA/WPA2

変調フォーマット：DSSS方式（IEEE 802.11b準拠）

OFDM方式（IEEE 802.11g準拠）

通信範囲 *[1]：約50 m

使用周波数：2.4 GHz帯（2,400 GHz ～ 2,483 GHz）

無線チャンネル：1 – 13 ch

*[1] 通信範囲は、本機の使用条件や設定によって異なることがあります。

インターフェース

ヘッドホン：ステレオミニ

WM-PORT（マルチ接続端子）：22ピン

Hi-speed USB（USB 2.0 準拠）

動作温度

5 ～ 35 ℃

電源

- 内蔵リチウムイオン充電式電池使用
- USB電源（付属のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給）

充電時間

パソコンのUSBコネクタからの充電の場合

約3時間（満充電）、約1.5時間（約80 %まで充電）

電池持続時間

「イコライザ」（☞ 30ページ）、「VPT（サラウンド）」（☞ 30ページ）、「DSEE（高音域補完）」（☞ 31ページ）、「クリアステレオ」（☞ 31ページ）、「ダイナミックノーマライザ」（☞ 31ページ）、「無線LAN機能のオン/オフ」（☞ 62ページ）を「オフ」に設定しているときの目安です。また、ビデオとワンセグは輝度設定を「3」に設定しているときの目安です。

本機の状態	ノイズキャンセリング機能なしまたは無効の場合	ノイズキャンセリング機能を有効にしている場合
ミュージック		
ATRAC 132 kbps再生時	約29時間	約20時間
ATRAC 128 kbps再生時	約26.5時間	約19時間
ATRAC 48 kbps再生時	約27.5時間	約19.5時間
ATRAC Advanced Lossless 64 kbps再生時	約27時間	約19.5時間
MP3 128 kbps再生時	約33時間	約21.5時間
WMA 128 kbps再生時	約31時間	約21.5時間
AAC 128 kbps再生時	約29時間	約20.5時間
HE-AAC 48 kbps再生時	約29.5時間	約20.5時間
リニアPCM 1,411 kbps再生時	約31時間	約21.5時間
ビデオ		
MPEG-4 768 kbps再生時	約7.5時間	約6.5時間
MPEG-4 384 kbps再生時	約9時間	約7.5時間
AVC Baseline 768 kbps再生時	約7.5時間	約6.5時間
AVC Baseline 384 kbps再生時	約8時間	約7.5時間
WMV 9再生時	約8.5時間	約7.5時間

次のページへつづく☞

本機の状態	ノイズキャンセリング機能なしまたは無効の場合	ノイズキャンセリング機能を有効にしている場合
ワンセグビデオ再生時	約7時間	約6時間
ワンセグ		
ワンセグ視聴時	約4.5時間	約4時間
ワンセグ録画時	約4時間	約4時間
ワンセグ録画時(画面をオフにしての録画時)	約7.5時間	約6.5時間
無線LAN		
Webページ表示時	約5.5時間	約5時間
YouTube再生時	約4.5時間	約4時間
FM		
FMラジオ放送受信時	約17.5時間	約14時間

ディスプレイ

3.0型、有機EL、WQVGA(432 × 240ドット)、ドットピッチ0.153 mm、262,144色

外形寸法

約52 × 96.5 × 9.8 mm
(幅／高さ／奥行き、最大突起部含まず)

最大外形寸法

約52.5 × 97.4 × 10.5 mm(幅／高さ／奥行き)

質量

約98 g*1

*1 NW-X1060/BI(ソニースタイルモデル)は 約100 g。

サンプルデータについて

本機は、音楽、ビデオ、写真の試聴･体験用サンプルデータをあらかじめインストールしています。
一度削除したサンプルデータは元に戻せません。また、新たにサンプルデータの提供はいたしませんのでご了承ください。

ライセンスおよび商標について

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plus、ATRAC Advanced Losslessおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN"ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- DSEE Digital Sound Enhancement Engine および CLEAR BASS はソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- QuickTimeは米国Apple Inc.の登録商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc. の登録商標です。
- 「BBモバイルポイント」は、ソフトバンクテレコム株式会社の登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2およびWi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
  NetFront
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
- © 2007 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
- 「ジャストシステム　読み仮名変換モジュール」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ジャストシステム　読み仮名変換モジュール」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

この製品は "Embedded Memory with Playback and Recording Function System"(以下"EMPR*[1]")規格に準拠して製造されています。コンテンツ保護方式として"MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR"を利用しています。

*[1] "EMPR"は、ソニー株式会社が開発した著作権保護に対応したシステムの規格名であり、"MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR"はDpa(社団法人 デジタル放送推進協会)からデジタル放送記録時のコンテンツ保護方式として認可を得ています。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」(☞ 72ページ)をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルメディアプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や、**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには⇨ウォークマン カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/walkman-support/)
  デジタルメディアプレーヤーに関する最新サポート情報や、その他よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
  ※本機へ曲を転送できる機器との接続に関する詳細情報につきましても上記ホームページをご確認ください。
- **電話・FAXでのお問い合わせは⇨ ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX番号)**
  お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  ◆セット本体に関するご質問時:
  - 型名:本体裏面に記載
  - 製造(シリアル)番号:本体裏面に記載
  - ご相談内容:できるだけ詳しく
  - お買い上げ年月日

  ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時:
  質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口	フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・0120-333-020	携帯電話・PHS・一部のIP電話・0466-31-2511
修理相談窓口	フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・0120-222-330	携帯電話・PHS・一部のIP電話・0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

➡ 左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「301」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389
受付時間
月〜金:9:00〜20:00
土・日・祝日:9:00〜17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1